平成30年度

広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 年報

広島県立総合技術研究所 畜産技術センター

目 次

Ι	総	説																						
]	L %	.\	革		• • • •		• • •	• • •	• • •	• • •	• • •			• • •		• • •		• • •			• • •	• • • •		1
2	2 模	送	構	• • • •	• • • •		• • • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •		• • •		• • •	• • • •	• • • •		• • •	• • •	• • • •	• • •	1
3	3	<u>></u>	計		• • • •		• • • •			• • •				• • •				• • •				• • • •	• • •	2
4	1 月	月地及	び建	物施	設の	概要	•							• • •				• • •				• • • •	• • •	3
5	5 È	三要理	化学	実験	備品	ı ··		• • •			• • •			• •				• • • •						5
П	平	成3	0年	度研																				
]			題一	_	• • • •																	• • • •	• • •	8
2	-		一覧		• • • •	• • • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • • •	• • •	8
Ш		究成					>>1a at												· ·					
			用し	た呼 爰地の															発・	•••	• • •	• • • •	• • •	9
		(1) (2)		友地り 月牛に	•										-									
2		` ′	化保																発器	是具	の核	後能許	平価	14
IV	事	業成	績																					
]	L 鬄	尼 畜人	、工授	精事	業		• • •	• • •		• • •				• • •				• • • •		• • •			• • •	16
2	2 戊	5島和	1牛経	営発	展促	進事	業((広,	島血	1統	和牛	-増	産	事業	•	• • • •	• • • •	• • • •	• • • •	• • •	• • • •	• • • •	• • •	18
V	研	究発	表・	広執	普	及活	動及	とび	研	修														
]			発表		• • • •	• • • •	• • • •	• • •	• • •	• • • •												• • • •		19
2			その		• • • •	• • • •																• • • •		20
į			 行物		• • • •																	• • • •		20
4			産権		• • • •																	• • • •		20
5			研修		• • • •																	• • • •		21
6		'	行事	•	• • • •	• • • •																• • • •	• • •	23
7	-		指導		• • • •	• • • •	• • • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • • •	• • •	• • • •	• • •	• • •	•••	• • •	• • • •	• • •	24
VI			績の		2																			
]	-		理業		• • • •	• • • •	• • •															• • • •		25
2			畜名		• • • •	• • • •																• • • •		28
	•		理業	務	• • • •	• • • •	• • • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •		• • •	• • • •	• • • •	• • • •	•••	• • •	• • • •	• • •	31
VII		象表		· Æ. →																				0.0
			速気				 ज्ञा	• • •	•••	• • •	• • •	• • •	• • •	• • •	• • • •	• • •	• • • •	• • • •	• • •	•••	• • •	• • • •	• • •	33
VIII →			び施 ンター				-																	34
	n /+: 17	7 I/NE (C.	///		HIIX			•				'										•		\mathfrak{d}_4

説

1 沿 革

明治33年(1900年)農商務省七塚原種牛牧場として設置される。

大正5年(1916年)農商務省畜産試験場中国支場と 改称され、引き続き、家畜改良業務が継続される。広 島県では神石郡油木町に広島県種畜場が設立され、和 牛の改良及び飼養管理に関する業務が開始される。

大正 12 年 (1923 年) 農商務省畜産試験場中国支場 廃止の後を受け、広島県種畜場七塚原分場として発足 し、乳用牛、豚及び飼料作物等に関する業務が開始さ れる。

昭和2年(1927年)広島県立農事試験場から種畜場 七塚原分場に養鶏に関する業務が移管される。

昭和12年(1937年)安佐郡緑井村に広島県立緑井 ふ卵場が設立される。

昭和14年(1939年)広島県種畜場七塚原分場を廃止し、広島県七塚原種畜場と改称される。

広島県種畜場を廃止し、広島県油木種畜場と改称される。

昭和 15 年(1940 年)和牛肥育の研究機関として、 新市畜産指導所が設立される。

昭和19年(1944年) 広島県立緑井ふ卵場を廃止し, 広島県種鶏場と改称され, 種鶏改良に関する業務が移 管される。

昭和29年(1954年)広島県七塚原種畜場での豚, めん羊,山羊,兎等の業務を廃止し,乳用牛を主体と した種畜場に切り替え,乳用牛の改良及び酪農に関す る試験が開始される。

昭和34年(1959年)新市畜産指導所の業務の主体 が養豚になる。

昭和44年(1969年)広島県種鶏場を三次市に移転する。

昭和47年(1972年) 畜産関係試験研究の効率化を 図るため、広島県立畜産試験場と改称し、旧七塚原種 畜場を本場とし、油木種畜場を油木支場、種鶏場を三 次支場、新市畜産指導所を新市支場と改称し、それぞ れ乳用牛(本場)、肉用牛(油木)、鶏(三次)、豚(新 市)の試験研究が担当される。

昭和48年(1973年)新市支場を廃止し、本場に養 豚部として統合される。

昭和50年(1975年)本館を新築し、実験施設及び機器類が整備される。

昭和56年(1981年)肉用牛の試験研究部門を本場に統合,油木支場は油木肉用牛改良センター,三次支場は三次養鶏支場に改称される。

昭和59年(1984年)三次養鶏支場が養鶏部と改称される。

平成6年(1995年)本場に先端技術研究棟が新

築され、研究施設及び機器が整備される。

平成7年(1996年)広島県立畜産技術センターと改称し、組織を総務部、企画情報部、飼養技術部、生物工学部、環境資源部及び広島牛改良センターとし、旧養鶏部には三次養鶏試験地が置かれる。

平成8年 (1997年) 三次養鶏試験地を廃止し,本所に 統合される。

平成 19 年 (2007 年) 広島県立総合技術研究所畜産 技術センターと改称し、組織を総務部、技術支援部、 飼養技術研究部、育種繁殖研究部及び広島牛改良セン ターとされる。

平成 20 年 (2008 年) 広島牛改良センターが畜産技 術センターに統合される。

2 機 構

昭和47年(1972年)県内に分散した畜産関係試験研究機関を統合し、広島県立畜産試験場とし、本場に総務部、企画調査部及び研究部を置いた。

昭和 48 年 (1973 年) 新市支場を廃止し、養豚部を 設置した。総務部に総務課と業務課を置き、研究部を 酪農部と改称した。

昭和51年(1976年) 飼料部を新設した。

昭和56年(1981年) 肉牛部を新設し、油木支場は油木肉用牛改良センターと改称し、肉用牛の改良業務に専念することとなった。三次支場を三次養鶏支場に改称した。

昭和59年(1984年)三次養鶏支場を養鶏部に改称した。

平成7年 (1996年) 広島県立畜産技術センターと改称し、組織を総務部、企画情報部、飼養技術部、生物工学部、環境資源部及び広島牛改良センターとし、旧養鶏部に三次養鶏試験地を置いた。

平成8年 (1997年) 三次養鶏試験地を廃止し,本所に統合した。

平成 19 年 (2007 年) 広島県立総合技術研究所畜産 技術センターと改称し、組織を総務部、技術支援部、 飼養技術研究部、育種繁殖研究部及び広島牛改良セン ターとされる。

平成20年(2008年)広島牛改良センターを畜産技術センターに統合した。

平成23年(2011年)総務部総務担当と業務課を再編し、管理課を設置した。

(1) 機構図



(2)現員数

(平成31年3月31日現在)

区分	研究職	行政職	技術職	計	
センター長	1			1	
次長	1 (1)	1 (1)		2 (2)	
総務部 管理課		4		4	
技術支援部	2			2	
飼養技術研究部	6			6	
育種繁殖研究部	12			12	
計	22 (1)	5 (1)		27 (2)	

注) () 内は兼務職員で内数。

3 会計

(1)予算及び決算

ア 歳入 (単位:円)

科目(款・項・目)	調定額	収入済額
使用料及び手数料	3, 480, 450	3, 480, 450
使用料	51,600	51,600
手数料	3, 428, 850	3, 428, 850
財産収入	64, 599, 011	64, 599, 011
財産売払収入	64, 599, 011	64, 599, 011
物品売払収入	28, 119, 101	28, 119, 101
生産物売払収入	36, 479, 910	36, 479, 910
諸収入	15, 341, 850	15, 341, 850
受託事業収入	15, 245, 214	15, 245, 214
試験研究受託金	14, 564, 214	14, 564, 214
技術課題解決受託金	681,000	681,000
雑入	96, 636	96, 636
雑入	96, 636	96, 636
	83, 421, 311	83, 421, 311

イ 歳出 (単位:円)

科目(款・項・目)	予算令達額	支出済額
総務費	143, 942, 534	143, 942, 534
総務管理費	172, 020	172, 020
一般管理費	71, 620	71, 620
人事管理費	100, 400	100, 400
企画費	143, 770, 514	143, 770, 514
研究開発費	143, 770, 514	143, 770, 514
農林水産業費	24, 282, 253	24, 282, 253
畜産業費	24, 282, 253	24, 282, 253
畜産振興費	24, 098, 653	24, 098, 653
家畜保健衛生費	183, 600	183, 600
合計	168, 224, 787	168, 224, 787

4 用地及び建物施設の概要

(1) 土地 (単位: ha)

· · · / — · · ·				(1 1 1 1 1 1 1 1 1
区分	建物敷地	ほ場	山林その他	計
_	1. 2	22. 0	54. 8	78. 0
計	1.2	22.0	54.8	78. 0

(**2**) 建物 (単位: m²)

\ _ / X= 1/3				(== 111 /
区分	本 館	畜 舎	その他	計
_	2, 478	6, 722	4, 054	13, 254
計	2, 478	6, 722	4, 054	13, 254

(3) 建物及び主要施設内訳

ア 建物 (単位:m²)

	構造	建築面積	延面積
本館	鉄筋コンクリート二階建	1, 347. 60	1, 753. 70
先端技術研究棟	鉄筋コンクリート二階建	432. 10	724. 69
供卵牛舎	鉄骨平屋建大波スレート葺	281. 55	281. 55
搾乳牛舎	鉄骨亜鉛メッキ鋼板葺	1, 173. 55	1, 173. 55
分娩・哺乳牛舎	鉄骨平屋建	390.00	390.00
育成牛舎	鉄骨平屋建大波スレート葺	374. 51	724. 43
フリーバン牛舎	鉄骨平屋建大波スレート葺	198. 74	198. 74
肥育牛舎	鉄骨平屋建大波スレート葺	358. 35	319. 17
繁殖試験牛舎	鉄骨二階建スレート葺	558.68	978. 24
育成試験牛舎	鉄骨平屋建スレート葺	170.64	170.64
隔離牛舎	鉄骨平屋建スレート葺	345.00	345.00
産肉能力検定豚舎	鉄骨平屋建スレート葺	78. 72	78. 72
肥育育成豚舎	鉄骨平屋建	385. 20	385. 20
若雄選抜豚舎	鉄骨平屋建	118.08	118.08
種雄豚舎	鉄骨平屋建	204. 12	204. 12
コロニー舎	鉄骨平屋建	48.00	48.00
家畜人工授精所	鉄骨造	220. 80	220. 80
種雄牛舎	鉄骨造	309. 02	597. 99
検定牛舎	鉄骨造	229. 69	443. 70
計量場	鉄骨造	15. 00	15. 00
繁留場	鉄骨造	40. 32	40. 32
繁留場	鉄骨造	28. 80	28. 80
繁留場	鉄骨造	23. 04	23. 04
繁留場	鉄骨造	21.60	21.60
堆肥製品庫	鉄骨造	440.00	380.00
診療室	鉄骨平屋建	25. 20	25. 20
農機具庫	鉄骨平屋スレート葺	237. 00	237. 00
農機具庫	鉄骨平屋スレート葺	253. 35	253. 35
サイロ上屋	鉄骨平屋建大波スレート葺	33. 12	33. 12
サイロ上屋	鉄骨平屋建スレート葺	200.00	200.00
衡器場	鉄骨平屋建兼ブロック瓦葺	19. 83	19. 83

名称	構造	建築面積	延面積
精液採取場	鉄骨平屋建スレート葺	91. 98	91. 98
業務課分室	補強コンクリートブロック建	199. 07	199. 07
記念館	木造瓦葺二階建一部平屋建	216.08	305. 17
倉庫	木造平屋建	21.00	21.00
第三牛舎付属物置	ブロック平屋建	12.80	12.80
給油所	鉄骨平屋建	70.00	70. 00
研修館	補強コンクリートブロック建	286. 61	286. 61
便所	ブロック平屋建	5. 58	5. 58
堆肥舎	鉄骨平屋建	50.00	50.00
便所	補強コンクリートブロック平屋建	4. 76	4. 76
育成牛舎	鉄骨平屋建二牛舎パドック	93. 79	93. 79
農機具実習室	軽量鉄骨造平屋建	308.68	308.68
病鶏舎	重量鉄骨造平屋建	27.30	27. 30
職員休憩所	木造吾妻屋コロニアル	8. 29	8. 29
飼料庫	鉄骨平屋建スレート葺	87. 50	85. 50
隔離牛舎 2	鉄骨平屋建スレート葺	146. 22	143. 51
環境資源調整施設	鉄骨平屋建スレート葺	101. 49	100.80
高速堆肥発酵施設	鉄骨平屋建スレート葺	97. 20	97. 20
堆肥舎	鉄骨平屋建 鋼板葺	482.85	482.85
農機具庫	鉄骨平屋建	290.70	290. 70
ハウス発酵施設	鉄骨平屋建塩化ビニール葺	135.00	135. 00

イ 主要施設

名称	数量	名称	数量
牧柵	6, 148m	トラックスケール	1基
サイロ	12基 1,737㎡	牛衡器	1基
メタンモデルプラント	1基	浄化水槽	3基
係留場	2ヵ所	沈殿槽	2基
バーンクリーナ	3台	尿溜槽	3基
配合機	1台	スクリューコンベア	1台
排汁貯留槽	3基	沈殿貯留槽	1基

5 主要理化学実験備品 (50万円以上)

<u> ၁</u>	土安理化字美駛佣品	(50万円以上)		
	備品名	規格性能	金額	購入年月
			千円	
	机	ダルトンNSC-1 2 0 0 2 A	1,715	Н 7. 2
		目立PCV1604CSG3	1,372	H 4. 1
	洗浄機	サンヨーM J W - 8 0 1 0	1,310	Н 8. 3
		サンヨーM J W - 8 0 0 0	1, 298	Н 7. 2
		AW-47	669	Н 7. 2
		バンザイCWH-T12	620	Н 4. 3
		Z-1	582	Н 20. 3
	フリーザー	E T — 1 N	795	Н 8. 1
		サンヨー超低温MDF-192AT	881	Н 7. 2
		東京理化MPF-1000	697	Н 7. 2
		E T — 1	639	Н 1. 11
		パナソニックヘルスケア MDF-U700VX-PJ	2,079	Н 27. 2
		PHC MPR-S163-PJ	171	Н 31. 3
	魔法瓶	DALIC-400凍結保存容器	1,957	Н 1. 9
		DR-250凍結精液保管器	1,377	Н 5. 6
	計算機	計算機	815	Н 2. 7
		8MBメモリ拡張	967	Н 6. 11
	パーソナルコンピュータ	NECPC9821XAR16	638	Н 8. 3
	撮影機	ゲル撮影装置 GDS-7900	940	Н 26. 2
		早坂理工 HK-333 牛枝肉解析ソフト一式	2, 389	Н 28. 3
	タンク	エーテックCO3液体窒素	3, 450	Н 2. 3
	受精卵分割装置	マイクロインジェクション	3,600	S 61. 8
	凍結保管器	FHKFA-1653	875	Н 4. 10
	アミノ酸定量装置	ウォーターズ	5, 760	Н 7. 2
	遠心分離機	多本架遠心機8100久保田製	630	Н 7. 2
		日立CT5DL	522	Н 7. 2
		日立CF15D	672	Н 7. 9
		ユニバーサル冷却遠心機 5922型	940	Н 26. 7
	乾燥装置	タバイPH301	797	Н 7. 2
		チューブ乾燥器サクラTUK-51	556	Н 7. 2
		タイテックフリーズドライヤーVD-31	866	Н 7. 2
		タバイLKS-4 A	2,300	S 58. 3
		タバイLKS-4 A	3,000	Н 4. 3
		タバイPH-301	774	Н 7. 3
		TUK-51	561	Н 3. 9
	カラーメーター	日本電色NR-3000B型	650	Н 7. 2
	クロマトグラフ装置	ウォーターズ	8,030	Н 7. 2
		島津GC-14BPSF 臭気測定用	8,075	Н 7. 2
		日本分光PU-980jイオンクロマト	4, 298	Н 7. 2
		LC-2030C	6,376	(借受)
	クリーンベンチ	日立垂直型 P C V 1 3 0 4 - B N G 3	690	Н 7. 2
		日立水平型PCH1603-BS	854	Н 7. 2
		日立垂直型PCV1304-BNG3	690	Н 7. 2
		日立水平型PCH1303‐CS	834	Н 7. 2
		日立水平型PCH1603-BS	854	Н 7. 2
		日立垂直型 P C V 1 3 0 4 - B N G 3	690	Н 7. 2
		日立水平型PCH1303-CS	834	Н 7. 2
	顕微鏡	オリンパスBX50-33-PHD	968	Н 7. 2

備品名	規格性能	金額	購入年月
		千円	
	クリンパックDC77CK2-TR6-1	814	Н 2.10
	ニコンX 2 UW-P h - 2 1	1,013	Н 7. 2
	ニコンX 2 F - P h - 2 1	760	Н 7. 2
	ニコンTMD 3 0 0 - E F	2,578	Н 7. 2
	ニコンTMD-2防塵ケース	840	S 57. 6
顕微鏡写真装置	オリンパスPM-30-1	798	Н 7. 2
	ニコンK P C - 2 5 1	630	Н 5. 3
蛍光顕微鏡装置	ニコンX 2 F - F F D - 3	2,662	Н 7. 2
恒温槽	精液低温処理FHKD-15	3, 500	Н 7. 2
	ヤマトBK-43	616	Н 3. 2
殺菌装置	エチレンMCE-670A	1,913	Н 3. 12
	イオジェルク SA-H540	1, 301	Н 29. 9
	オートクレーブ LSX-300	540	Н 27. 3
純水製造装置	オルガノPURIC-MX	870	Н 7. 2
	ヤマトWG35	765	Н 7. 2
濁度計	セントラル科学ST-100	540	Н 8. 3
成型機	ペレット用230S-10GP型	1,620	Н 8. 3
炭酸ガス定量器	二酸化炭素・酸素分析計	2,018	Н 8. 3
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ガスサンプリング切替装置	584	Н 9. 3
超音波測定装置	島津SDL321P	953	Н 2. 3
CIKKKE	プローブ S S D - 2 1 0 D X 用 5 M H z	793	Н 7. 7
	本多電子 HS-101V	864	Н 27. 9
	本多電子 HS-2100V	1, 987	Н 26. 8
	My Lab On e V e t 本体	4, 428	H 28. 6
抽出装置	アステックMDS-2000	2, 550	Н 7. 2
超音波洗浄器	シャープUT-604	2, 550 544	Н 7. 2
但自伙儿伊命	シャープUT-605		
	ジャープ U I ー 0 U S 試作卓上型 U S – 5 K S 機種改造	576	Н 9. 3
劫旦司。		589	Н 26. 3
熱量計	CA-4PJ	2, 401	Н 8. 3
濃縮機 B. O. D. W. 京出	タイテックVC-36S	834	Н 7. 2
B・O・D測定器	タイテッククールニット 100F	760	Н 8. 2
粉砕装置	カッチングミール	900	Н 8. 3
分析装置	藤原製作所SPAD硝酸態窒素用	680	S 63. 11
	三田村窒素自動定量装置	2, 160	S 63. 11
	インジケーターAG-500-03	1,099	Н 3. 3
	セイコーICP-SPS7700	8, 755	H 7. 2
	ヤナコCNコーダーMT-700	6,800	H 7. 2
	浜松フォトニクス C a 濃度画像解析システム	16, 795	H 7. 2
	バイオテッドトランスブロッティング装置	831	H 7. 2
	エコノシステムバイオテッドシステムB	1, 698	Н 7. 2
	ニコンFluor	677	Н 4. 3
	アンコム社 ファイバーアナライザーA200	1,010	Н 24. 3
	副産物保存状態モニター装置NEC三栄DC520	827	Н 14. 10
	ドイツ・ゲルハルト社デュマサームCN	7, 873	Н 30. 10
	島津製作所 I C P E - 9 8 2 0 軸横両方向	8, 294	Н 31. 2
自動セルカウンター	Countess II FL AMQAF1000	1,038	Н 28. 8
マニピュレーター	ライツ ニコンTMD3	7,847	Н 7. 2
	ピエゾシステムPMM-110F	1, 100	Н 7. 2
	ニコンNT88/TMD30	4, 524	Н 7. 2

備品名	規格性能	金額	購入年月
		千円	
	ピエゾマイクロ PMM-110	1, 100	Н 6.10
	MO-188NE外	1,070	Н 19. 3
	三次元ジョイスティック	902	Н 22. 3
遺伝子導入装置(その他機器)	ビーエム機器ECM600スーパーシステム	950	Н 7. 2
窒素分解装置	1 0 0 7 P S — 6	1, 220	S 56. 1
	柴田科学株製K-437	1,010	Н 22. 2
超音波診断装置	SSD-1200	9,012	Н 7. 2
	本多電子 HS-2000	5,000	Н 16. 3
	HS-1500V	1, 448	Н 18. 3
	HS-1500V	1,562	Н 18. 3
	採卵用プローブHCV-4710MV	976	Н 25. 3
電気泳動装置	クオンタ4000CE	4, 590	Н 7. 2
培養器	TA-16	607	S 56. 1
	タイテック BR-40LF	787	Н 7. 2
	十慈科学 BL-160	1,075	Н 7. 2
	パーソナルガスインキュベーター	625	Н 7. 2
	ヒラサワ CPD-170	970	Н 7. 2
	タイテック BR-300	1, 205	Н 7. 3
	LTI-600ED	540	Н 8. 3
	サンヨー MCO-175M	1,069	Н 5. 3
	アステック APCW-36	505	Н 11 6
	APM-30D型	567	Н 24. 3
	ウォータージャケット型パーソナルCO2	598	Н 25. 7
	ウォータージャケット型パーソナルCO 2	598	Н 25. 7
	ウォータージャケット型パーソナルCO 2	598	Н 25. 7
	冷凍機付インキュベーターMIR-254-PJ	544	(借受)
	ハ゜ーソナル CO2 マルチカ゛ス APM-30D	598	Н 28 6
	APM-30D アステック	660	Н 28 6
	APM-30D アステック	660	Н 28 6
	CO2インキュベーター 3	510	Н 27. 11
	冷凍機付インキュベーターMIR-254-PJ	486	Н 30. 7
浸透圧計(その他機器)	日機装 OSA-21	1, 498	Н 5. 3
分光光度計	クイックフローサンプラー430型	2,844	S 59. 3
	島津 UV-1850	921	Н 29. 7
	NanoDrop2000	1,522	Н 22. 2
分光計	分光測色計(CM-2600d)コニカミノルタ	1, 280	Н 18. 12
秤	キャトルロード FK-1000	1, 751	Н 8. 3
	ツールテストインジケーター	1, 099	Н 3. 3
計数装置	富士平 TC607A	1, 296	Н 3. 11
混合機	ユーブラ自走式822型	2,890	S 61. 12
ストローマシン	A I システム (ストローマシン, ストロープリンター)	7, 050	Н 12. 11
	富士平工業 T-10-05型	5, 184	(借受)
食品物性測定装置	相馬光学食肉脂質測定装置S-7040	4, 289	(借受)

Ⅱ 平成30年度研究課題及び事業

1 研究課題一覧

番号	研 究 課 題 名	予算区分	研究期間	研究担当
1	A I を活用した呼吸器病・消化器病・周産期疾病の早期発見技術の開発	外部	H29~31	育種繁殖研究部 飼養技術研究部
2	ガラス化保存胚のストロー内融解・ダイレクト移植が 可能な新規開発器具の機能評価	外部	H30	育種繁殖研究部
3	高発生能卵作出可能な体外成熟技術の開発	県単	H29~31	育種繁殖研究部
4	和牛用TMR生産・利用技術の移転・普及	県単	H30	飼養技術研究部
5	ビタミンA簡易測定装置の農家実証試験	県単	H30	飼養技術研究部
6	発酵飼料の製造利用技術の高度化	県単	H30	飼養技術研究部
7	水田里山の畜産利用による中山間高収益営農モデルの 開発	外部	H29~31	飼養技術研究部
8	府県における自給飼料生産利用技術の開発と実証	外部	H29~31	飼養技術研究部
9	セルロース系繊維を用いた飼料用ラップネットの利用 技術の開発	外部	H30~31	飼養技術研究部

2 事業一覧

番号	事 業 名	予算区分	期間	事業担当
1	家畜人工授精事業 ア 精液の製造・供給 イ 種雄牛検定推進	県単	S27~ S43~	育種繁殖研究部
2	広島和牛経営発展促進事業(広島血統和牛増産事業)	県単	H30∼	育種繁殖研究部

Ⅲ 研究成績

1 AI を活用した呼吸器病・消化器病・周産期疾病の早期発見技術の開発

ア 実施期間: 平成 29~31 年度

イ 共同機関:(国研)農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門,(国研)産業技術総合

研究所集積マイクロシステム研究センター, 酪農学園大学, 全農 飼料畜産中央研究所, 共立製薬株式会社, 株式会社ファームノート, 凸版印刷株式会社ほか

(1) 温暖地の乳用牛における周産期疾病の早期発見技術の開発

ウ 担当者: 今井 昭, 福本 豊, 山本哲史, 山本祐輔, 保本朋宏, 森本和秀

工 要約

農研機構動物衛生研究部門が主導するコンソーシアムに参加し、周産期疾病の効率的な検 出と治療による家畜の損耗防止を実現するための、体表温及び活動量を中心とした生体情報 センシングと AI 処理による周産期疾病管理システムの開発に寄与する。

特に本県は、分娩後の子宮回復の検出と効果的な治療に着目した技術開発を行う。

オ 背景・目的

牛乳及び牛肉の生産コスト低減のためには、効率的な繁殖管理が欠かせない。広島牛改良目標(H23.4.22)では肉用牛の分娩間隔の目標値が12.5ヶ月齢であるのに対し、H28年度で13.6ヶ月と下回っている。また、乳用牛の分娩間隔は全国平均433日に対して広島県平均455日と低いレベルにある(H27年度牛群検定成績)。分娩間隔短縮実現のためには、分娩後の初回授精を早める手法の導入が有効である。

カ 方法

- (ア) 温暖地域の AI (人工知能) による周産期疾病の検出に適したデータの提供
 - ・分娩後から授精・移植までの体表温及び活動量センサからのセンシングデータと発情及び 疾病履歴データを提供する。
- (イ) コンソーシアム内で改良される体表温センサに関する実証
 - ・コンソーシアム内で毎年改良されるセンサを用いた装着及びデータ取得を実証し、製品パッケージ完成に寄与する。
- (ウ) 周産期疾病の早期発見技術と適期受胎を促す処置技術の開発
 - ・体表温及び活動量センサからのセンシングデータによる初回及び次回以降の発情の把握と 分娩後の子宮内膜の回復状況の関連性調査を行う。
 - ・センシングデータに基づいた、子宮内膜の回復を早める処置法を開発する。

キ 結果の概要

(ア) 44 頭の搾乳牛へ体表温センサを取り付け、PG を投与して黄体を退行させた後の卵胞発育と排卵に合わせて人工授精及びET を行った際のデータを取得した。

- (イ)提供された取付け方法4種を検討した結果、最新の手法で取付け期間の延長と装着部位の傷の発生の抑制効果が確認できた。
- (ウ) 防水性を向上させたワイヤレスアンテナについて当センター試験牛舎で活用検証を行い, コンソーシアム内でデータを共有した。
- (エ) 平成 29 年から 30 年にかけて分娩した搾乳牛 25 頭について,初回及び次回排卵の発生と子宮内膜の回復上京について調査した結果,初回及び次回発情と子宮内膜スコアの回復(スコア 0)及び子宮内膜細胞診(PMN5%以下を陰性)が有意に相関していた。このことから,分娩後の初回及び次回排卵の発生時期を指標とすることで子宮内膜の障害を推定できるものと考えられた(表 1)。
- (オ)分娩後の初回及び次回排卵の発生時期によるクラスター分析により、大きく2つのグループに分けられ(図1)、分娩後の初回及び次回排卵が早期に起こるグループ A(35 日以内に初回排卵発生)と遅れて起こるグループ B(初回排卵 40 日以降に発生)の間で、子宮内膜スコアの回復と子宮内膜細胞診の項目で有意な差が確認できた(表 2)。このことから、グループ A は卵巣・子宮が良好に回復した良回復グループとし、グループ B を周産期疾病群として処置対象とすることで、乳用牛の適期授精に寄与できる可能性があると考えられた。

表1:初回・次回排卵と子宮回復項目の相関分析結果

	初回排卵	次回排卵
子宮内膜	r=0.42	r=0.56
スコアが0	(P<0.05)	(P<0.01)
子宮腔貯留物 スコアが1以下	r=0.22	r=0.29
子宮内貯留物	r=0.34	r=0.39
スコアが0	(P<0.10)	(P<0.10)
子宮内膜	r=0.48	r=0.56
細胞診陰性	(P<0.05)	(P<0.01)

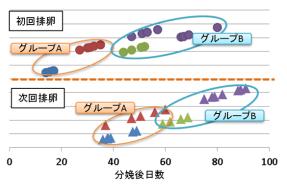


図1:初回及び次回排卵の発生を基準としたクラスター分析

表2:クラスター分析で分類したグループ別の各項目発生までの分娩後日数

グループ	初回排卵	次回排卵	子宮内膜 スコア0	子宮貯留物 スコア<1	子宮貯留物 スコアO	子宮内膜細 胞診陰性
A(n=12)	24.0	46.2	30.7 ^a	23.3	26.7	32.2 ^A
	±8.4	±8.5	±9.3	±5.9	±7.9	±8.1
B(n=13)	57.7	77.0	38.9 ^b	25.5	31.6	49.0 ^B
	±10.9	±10.7	±11.8	±5.9	±8.8	±16.7

. 各データの±以降の数値はS.D.を示す 異符号間に有意差(a:b P<0.10, A:B P<0.01)

ク 今後の予定(成果移転方法を含む)

- ・分娩後から授精・移植までの体表温及び活動量センサからのセンシングデータと発情及び 疾病履歴データについて引き続き取得する。
- ・コンソーシアム内で改良される体表温センサに関する実証について引き続き検証を行う。
- ・分娩後40日までに初回排卵が起こらない牛を周産期疾病処置対象牛として,有効な処置法を考案し,実証する。

・初回及び次回排卵のセンシングによる検出については、コンソーシアムの関連する課題と 連携して取り組む。

(2) 乳用牛における食滞の早期発見技術と飼養改善技術の開発

ウ 担当者:城田圭子、沖山恒明、新出昭吾

工 要約

H29 年度の試験で検討したルーメンセンサから得られる食滞の指標値の有効性を検証するため、指標値と飼料摂取量との関係性を調査した。その結果、制限給与により変化させた飼料摂取量と、ルーメンセンサ加速度値から得た指標値と間には明確な関係性は認められなかった。しかし、摂取量が低下すると、pHの日内最小値が高まることを確認した。

暑熱ストレスを要因とする食滞モデルを泌乳牛をもちいて作出し、各種センサ情報の変化を検討した。ルーメンセンサの加速度値については受信の不具合により、欠測や異常値が多く、解析値の検証ができなかったが、pH の変化と採食及び反芻との関係、暑熱期における胃内温度の上昇及び飲水の増加を確認することができた。

オ 背景・目的

肉用牛および乳用牛では、呼吸器病・消化器病等による死廃事故や病傷事故が多く発生し、これらによる経済損失が大きい。そこで本研究では、ウェアラブルセンサと ICT を活用して家畜の生理情報を収集するセンサシステムを開発するとともに、セ、シング情報にベンチマーキング情報、飼養環境情報、診療情報等を合わせて AI により解析し、呼吸器病等の疾病の兆候を早期に発見して死廃事故や経済損失を回避する技術を開発する。

本県は、中課題「疾病の早期発見技術の開発」の内、周産期疾病および消化器疾病の早期発見技術の開発を担当する。本課題では、肉用牛生産において重要な生産母体である乳用牛を対象に、体表温センサによる周産期疾病の早期発見技術を開発するとともに、適期授精を促す処置技術を開発する。また、ルーメンセンサにより、食滞の早期発見と飼養改善技術の開発に取り組む。

カー方法

(ア) 飼料摂取量の変化とルーメンセンサ情報の関連性の検証

供試牛:第一胃フィステル装着ホルスタイン種乾乳牛3頭

方法: 泌乳牛用発酵 TMR を7日間自由摂取とした後,自由摂取時の60%量まで4日毎に10%量ずつ漸減して給与し,ルーメンセンサ情報を取得した。H30年度に検討した加速度値の解析手法を用いて摂取量減少による変化の検知を検証した。

(イ) ルーメンセンサ情報に基づく食滞早期発見の検証

供試牛:ホルスタイン種泌乳牛 4頭

方法:暑熱条件下で細霧送風(9:00~18:00)を行って10日間飼養した後,細霧送風を停止して4日間飼養し,暑熱ストレス負荷により食滞モデルを作出した。給与飼料は発酵TMRを、9:00と16:00に給与し,自由摂取とした。細霧停止前3日間と停止後4日間の発酵TMR摂取量,ルーメンセンサ情報,体温,呼吸数,咀嚼行動を調査した。

キ 結果の概要

- (ア) 飼料給与量を減じた割合毎に、H29に指標値として検討したセンサ加速度値のY軸ピー ク数・強度およびセンサ回転数による解析を行った結果、 摂取量減少により Y 軸ピーク 回数・強度は減少傾向が認められたが有意な差は認められなかった(図1)。また、セ ンサ回転数には一定の傾向は認められなかった。一方でセンサ pH 値は給与量 70%以下 で日内の最小値が高くなった(表1)。
- (イ) 暑熱条件下で細霧送風を停止したことにより、摂取量の低下、呼吸数の増加、反芻時間 の減少を認めた(図 2)。ルーメンセンサ情報においては、日内最高温度の上昇と飲水 を示すセンサ温度低下の回数が増加した(図 2)。pH の変化は個体により傾向が異なっ ており,一定の変化は認められなかった。加速度値は欠測や異常値が多く発生したため 期間を通じた解析は不可能であった。

暑熱ストレス負荷の影響が最も大きかった個体の咀嚼行動とルーメンセンサ情報か ら、細霧送風有の日において pH は採食後に大きく低下し、反芻によって回復する動き を示した(図3)。また、センサ温度は飲水によって一時的に低下するが、それ以外は 変動が小さく,安定していた。一方、細霧送風を停止して最も摂取量が減少した日では, 反芻時間が減少し、反芻・採食による pH の変化が小さくなった。また、胃内温度は気 温の上昇に伴い上昇し 40℃を超えて推移し,飲水を示す低下の回数が増加した(図 3)。

表1 飼料給与量の減少とセンサpH値

飼料給与量		センサpH値							
(%)	最大値	最小値	平均	日内変動					
100	6.94 -	5.61 -	6.32 -	1.34 -					
90	7.04 ns	5.62 ns	6.43 ns	1.42 ns					
80	7.08 ns	5.84 ns	6.53 ns	1.24 ns					
70	7.11 ns	5.88 **	6.51 ns	1.22 ns					
60	7.05 ns	5.87 **	6.44 ns	1.18 ns					

**:P<0.01

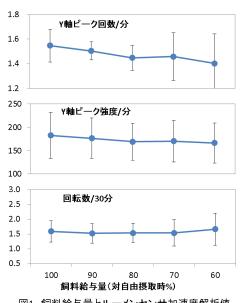


図1 飼料給与量とルーメンセンサ加速度解析値

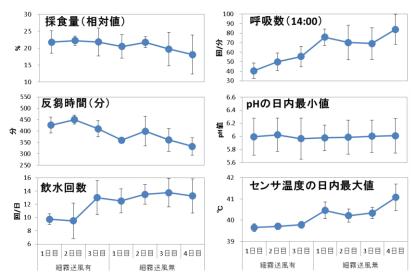


図2 泌乳牛の暑熱ストレス負荷による変化

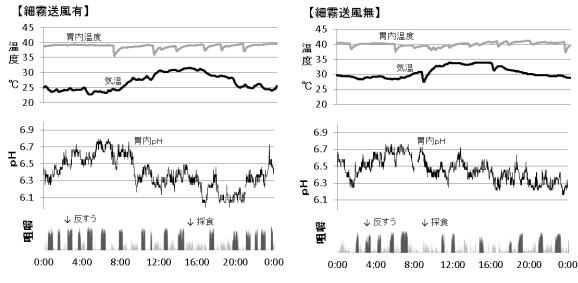


図3 泌乳牛の暑熱ストレス負荷による変化

ク 今後の予定(成果移転方法を含む)

- ・搾乳牛の食滞モデルでルーメンセンサ情報を蓄積し、食滞の早期発見の有効性を確認する。
- ・フィステル装着牛を用いて、ルーメンセンサ情報に基づく添加飼料給与の食滞防止効果 を検証する。

2 ガラス化保存胚のストロー内融解・ダイレクト移植が可能な新規開発器具の 機能評価

ア 実施期間:平成30年度

イ 共同機関:ミサワ医科工業株式会社

ウ 担 当 者:保本朋宏、山本祐輔、福本豊

工 要約

操作が簡便で広域流通可能なダイレクト法,及び受胎率が高いガラス化法の両方のメリットを併せ持つ技術開発に取り組み,ガラス化胚の現地でのストロー内融解・ダイレクト移植を可能とする器具をミサワ医科工業株式会社(以下「ミサワ医科」という。)と共同開発した。この器具による現地移植試験に取り組んだ結果,現地での器具の有用性を確認し,得られた成果をもとに,普及の際に必要な器具使用マニュアルを完成させ,器具の製品化を実現した。

オ 背景・目的

牛の胚移植で普及している、現地で融解及び直接移植が可能な緩慢凍結胚は、低い受胎率が課題であり、より受胎率の高いガラス化保存胚の活用が望まれているが、施設での融解及び農家までの運搬等、移植時の煩雑な作業が必要となるため、普及には至っていない。

このため、受胎率の高いガラス化保存胚のストロー内融解及びダイレクト移植が可能な器 具を開発及び製品化し、受胎率の高い胚の供給体制の構築及び胚移植の普及拡大を図り、酪 農経営における和牛販売による経営力向上及び県産和牛の増産に資する。

カ 方法

(ア) 供試胚の製造及び保存

供試胚として,広島系統牛保存センター及び畜産技術センターで飼養する黒毛和種繁殖雌牛から,経膣採卵及び体外受精により体外胚を製造し,緩慢凍結法(ダイレクト胚),ガラス化保存法(ガラス化胚)及び開発器具(開発器具胚)により凍結保存した。

(イ) 現地移植試験

県関係機関と選定した農場 6 戸で飼養するホルスタイン種未経産牛及び経産牛に同期化処置を実施し、移植前日の黄体確認により、受胚牛として選定した。

ダイレクト胚及び開発器具胚は、移植当日、移植農場まで運搬し、現地で融解し、移植に供した。ガラス化胚は、移植当日、畜産技術センター内で、常法にて融解し、修復培養(1時間)を行い、ストローに詰め替え、移植農家まで運搬し、移植に供した。移植は、県職員、民間家畜人工授精師及び農場管理獣医師が実施した。

(ウ) 融解補助器具の開発

開発器具胚を現地でより簡便に融解できるよう、融解時の補助器具の開発に取り組んだ。

(エ) 県外試験研究機関との連携

県外試験研究機関と連携し、他機関による開発器具の実用性を検証した。

(オ) マニュアルの作成

現地移植試験の結果及び試験関係者から得られる、開発器具取り扱い時の注意点及び改善 点に関する情報をもとに器具の取り扱い方法を定め、器具使用マニュアルを作成した。

(カ) 製品化

移植試験により得られた情報に基づき、ミサワ医科と器具の製品化にむけた協議を行った。

キ 結果の概要

(ア) 供試胚の製造及び保存

黒毛和種繁殖雌牛 15 頭から延べ 25 回の経膣採卵及び体外受精により, 109 個の供試胚を 製造した(ダイレクト胚 30 個, ガラス化胚 29 個, 開発器具胚 50 個)。

(イ) 現地移植試験

受胚牛は同期化処置実施後,移植前日の黄体確認により,未経産牛75頭及び経産牛34頭を選定した。なお,現地での開発器具の取扱具合を確認するため,受胚牛全頭に移植を実施したが,分娩後1年以上の空胎等,繁殖不良牛9頭の成績は,試験データからは除外した。未経産牛73頭に移植した結果,開発器具胚は31頭中14頭(受胎率45.2%),ダイレクト胚は24頭中7頭(29.2%)及びガラス化胚は18頭中13頭(72.2%)の受胎を確認した。

また,経産牛13頭に開発器具胚を移植した結果,7頭の受胎(受胎率53.8%)を得ることができ,経産牛への移植における開発器具の有効性を確認した。

(ウ) 融解補助器具の開発

ミサワ医科と検証を重ね,胚の融解作業がスムーズになるとともに,融解補助器具の材料減量化にもつながる,ストロー挿入口の横部分が扇状に開放した形状の融解補助器具を開発した。

(エ) 県外試験研究機関との連携

県外試験研究機関で開発器具の実用性を検証した結果、良好な結果が得られ、今後、各機関においては、開発器具を購入し、具体に活用されることとなった。

(オ) 開発器具の取扱方法の検討及びマニュアルの作成

本試験で得られた知見を参考に、開発器具の取扱にあたっての注意点を取りまとめ、製造方法から融解方法までを記載した、開発器具の使用マニュアルを作成した。

(カ) 製品化

本試験により得られた成績及び情報に基づき、共同開発者のミサワ医科と協議を行った結果、開発器具を製品名「ビトラン-7」として平成31年2月から販売することとなった。

ク 今後の予定 (成果移転方法)

県内での普及を図るため、事業局と連携し、県機関による現地での検証を重ね、ビトラン-7で保存した体外胚の供給体制を構築する。

また,販売された「ビトラン-7」を具体に使用する県内外の技術者等から得られる情報を参考にして、更なる器具の改良に努めていく。

Ⅳ 事業成績

1 家畜人工授精事業

(1)目的

実需者のニーズに対応した和牛肉を安定的に消費者へ提供するため、広島血統和牛の増産に必要な 県有種雄牛の精液を製造する。

また、乳用牛の活用による和牛増産を加速化するため、体外受精卵の供給体制を構築する。

(2) 事業の内容

ア 精液の製造・供給

広島和牛の改良と増殖を図るため、広島和牛の家畜人工授精用精液を安定的に製造及び供給する。

イ 種雄牛検定推進

(ア) 種雄牛産肉能力直接検定

産肉能力直接検定法によって、生後 7~8 カ月齢の雄子牛を 112 日間飼育し、この間の発育・増体量及び飼料効率等を調査し、産肉能力の優れた個体を選抜する。

(イ) 種雄牛産肉能力現場後代検定

産肉能力現場後代検定法によって、候補種雄牛の産子15頭以上の肥育成績を調査し、候補 種雄牛の遺伝的産肉能力を評価する。

(ウ) C検定

候補種雄牛のC検定肥育牛3頭の肥育成績を調査し、候補種雄牛の遺伝的産肉能力を評価する。

- ウ 広島血統和牛受精卵供給体制構築
 - (ア) 広島血統和牛受精卵の製造・供給
 - (イ) 民間主体の受精卵供給体制の構築 農家等からの申請に基づき体外受精卵を製造・供給

(3) 結果の概要

ア 精液の製造・供給

家畜人工授精用精液を, 3,514 本生産した(表 1)。 家畜人工授精用精液を, 1,999 本供給した(表 2)。

表 1 生産本数 (3,514 本)

名 号	本 数	名 号	本 数
勝白福	1,037	美津七輝	261
立烏帽子12	759	花勝百合	260
紅神照	578	遺伝資源	5
百合沢照	318		
花勝美	296	_	_

※遺伝資源内訳:山照茂 5本

表 2 供給本数 (1,999 本)

名 号	本 数	名 号	本 数
田安照	67	美津七輝	40
安芸重福	5	里百合	32
紅勝白	120	神忠美津	83
勝白福	728	黒笹波	59
3柴沖茂	229	花勝美	31
沖茂神竜	176	花勝百合	10
芳乃照	303	立烏帽子	116

イ 検定実施

(ア) 種雄牛産肉能力直接検定 直接検定法により1頭実施した(表1)。

表1

名号		血統		Ī	直接検	定成	績	ゲノム	育種 価※
	父	母	□- 1-1 -1/2	1日平均	発育	365 日	TDN	脂肪	枝肉
	X	 	母方祖父	増体量	ランク	補正体重	要求率	交雑	重量
野村立8	田安照	のむら77	百合茂	1. 33	A	460.7	3. 91	8. 53	469. 2

※: R1 第2回ゲノム育種価

(イ) 現場後代検定

現場後代検定法により2頭実施した(表2)。

表2

<u> </u>								
名 号	<u> </u>	血統		脂肪 交雑	ロース 芯面積	バラの 厚さ	皮下 脂肪厚	推定 歩留
	父	母方祖父	重量 (kg)	(No)	(cm ²)	(cm)	(cm)	(%)
神忠美津	美津百合	勝忠平	496. 5	6.8	58.8	8. 1	3. 1	73. 4
里百合	美津百合	平茂勝	463. 0	6. 7	62. 1	8. 2	2.8	74. 6

(ウ) C検定

1頭の候補種雄牛の検定を実施している(表3)。

表3

候補種雄牛	Ĺ.	統	調査牛頭数
	父	母方祖父	頭釵
神竜岩田	第3神竜の4	美津福	1

ウ 広島血統和牛受精卵供給体制構築 農家等からの申請に基づき体外受精卵の製造・供給 19 頭から採卵し 378 個製造・供給した

2 広島和牛経営発展促進事業(広島血統和牛増産事業)

(1) 目的

和牛受精卵の供給体制の強化と受精卵の取り組みを強化・拡大することにより、乳用牛等肥育経営 や酪農経営の経営改善を図る仕組みを構築するとともに、和牛子牛の増頭による県産和牛肉の生産拡 大を図る。

(2) 事業の内容

体外受精卵製造・供給計画:家畜人工授精事業と合わせて1,500個

(3) 結果の概要

ア 体外受精卵の製造個数:109頭から採卵し804個生産した (家畜人工授精事業製造分348個と併せ,1,152個)

イ 供給個数:829個(家畜人工授精事業供給分と合算)

Ⅴ 研究発表・広報普及活動及び研修

1 研究発表

(1)論文発表

(· / Mint > / > / >										
著者名	論	文	表	題	誌	名	巻	号	頁	年 月
(飼養技術研究部)										
福馬敬紘,河野幸 雄,神田則昭,新出 昭吾	高糖分飼料イ ロップサイレ 変敗に対する	ージの	発酵品	質及び好気的	広島県立総 センター研		究所畜産技術	17,	1-6	2018. 12
河野幸雄	極短穂イネWC	Sを用い	へた和台	 月TMRの開発	日本草地学	会誌, 65		別号	, 36	2019.3
(育種繁殖研究部)										
山本哲史,山本祐 輔,今井昭	県産和牛増産 供給体制整備			受精由来胚の	日本胚移植	学雑誌		40,	69-74	2018. 5
日高健雅,福本豊, 山本哲史,尾形康 弘,堀内俊孝	Variations i production b for OPU-IVF glutathione oocytes duri	etween are cl concen	indiv osely tratio	idual donors related to ns in	Theriogeno	logy, 113	3	176-	-182	2018. 6
今井昭,栗原幸一, 日高健雅,山本祐 輔,山本哲史,福本 豊,森本和秀	経膣採卵の野				広島県獣医	学会雑誌		33,	29-34	2018. 7
日高健雅,福本豊, 今井佳積,山田博 道,尾形康弘	桑実胚由来細 移植胚を活用 雄牛造成				広島県立総センター研	一一一 合技術研究 究広告	究所畜産技術	17,	7-14	2018. 12

(2)口頭発表

<u> </u>			
発 表 者	発 表 課 題 名	学 会 名 等	年月日
(飼養技術研究部)			
河野幸雄	TMRセンターの活用による地域資源の活用と地域活性化(極短穂イネWCSを用いた和牛要TMRの開発)	日本草地学会 公開シンポジウム	2019. 3. 27
(育種繁殖研究部)			
山本哲史	成熟培地へのシステイン添加による黒毛 和種体外受精胚の生産効率向上	第2回日本胚移植技術研究会大会	2018. 9. 21
柴田愛梨	ゲノム育種価による広島和牛の能力推定 と改良	平成30年度広島県立総合技術研究 所畜産技術センター研究成果発表 会	2018. 12. 14
森本和秀	ガラス化保存胚のストロー内融解・ダイ レクト移植用器具の開発	第42回家畜診療技術研究発表会	2019. 3. 6
今井昭	乳用牛の分娩後の採卵を伴う発情発現と 子宮修復の関連性調査	日本畜産学会 第125回大会	2019. 3. 29

2 著書・その他

著 者 名	表 題 名	雑 誌 名	号 頁	年月
(技術支援部)				
神田則昭	自給粗飼料と堆肥	らくのうだより広島	292号, 30	2018.7
神田則昭	夏作の収穫調製から冬作の作付へ	らくのうだより広島	293号, 13	2018.8
神田則昭	トウモロコシとイタリアンと飼料稲	らくのうだより広島	294号,17	2018.9
神田則昭	WCS用稲 新品種『つきことか』と『つ きすずか』	らくのうだより広島	295号,15	2018. 10
神田則昭	イタリアンは順調ですか? (前編)	らくのうだより広島	297号, 15	2018. 12
神田則昭	イタリアンは順調ですか? (後編)	らくのうだより広島	298号,15	2019. 1
(飼養技術研究部)				
新出昭吾	飼料イネ「たちすずか」開発裏話	らくのうだより広島	299号,15	2019. 2
沖山恒明, 新出昭吾	ニーズ充足型の研究に軸足を置いて	全酪連会報	3月号, 2-3	2019.3
(育種繁殖研究部)				
佐藤伸哉	F1 子牛生産にお勧め!~「芳乃照」~	らくのうだより広島	289号, 28	2018. 4
森本和秀	Imocolibov®接種による乳房炎死廃事故 低減効果	牛の乳房炎Q&A	52-54	2018. 11

3 定期刊行物_______

刊 行 物 名 	刊行年月
平成30年度 試験研究及び事業計画の概要	2018. 4
平成29年度 広島県立総合技術研究所畜産技術センター年報	2018. 8
畜産技術センター研究報告 第17号	2018. 12

_4 知的財産権

登録	または公開番号	発明の名称	出願日	共同出願者
特許	4448984	畜産飼料用ドリル式コアサンプラー	2006/11/1	
特許	5360476	家畜の血中ビタミンA及びベータカロテン濃度測定方法並びに家畜の血中ビタミンA及びベータカロテン濃度測定装置	2009/3/26	藤原製作所, 東亜DKK
特許	5688597	反芻動物管理装置	2009/11/13	
特許	6197250	反芻動物管理方法	2014/12/1	
特許	6260902	ビタミンA測定装置及びビタミンA測定システム	2014/3/10	藤原製作所, 東亜DKK
特許	6238186	ガラス化保存された生殖細胞の融解用器具および融解方法	2016/7/1	ミサワ医科工業
特許	6253125	家畜用飼料給与設備および家畜用飼料給与方法	2016/11/25	
特許	6475493	生殖細胞保存用具及び生殖細胞のガラス化保存方法	2014/12/26	
特開	2017-55722	反芻動物の分娩情報検知システムおよび分娩情報検知方法	2015/9/17	
特開	2017-118868	新規飼料添加用乳酸菌	2015/12/28	農研機構,雪印種苗

5 技術研修	期間		場所	研修内容
研 修 名 (技術支援部)	- 別 - 同	人員	場所	
飼料イネ生産利用技術研修	2018. 5. 9	17	庄原市	農業法人に対し、飼料イネの栽培技術に関 する研修
家畜診療所新任者研修	2018. 5. 16	3	当センター	NOSAI広島の新任獣医師に対し, センターの 概要を紹介
試験研究の概要,施設見学	2018. 6. 11	5	当センター	県立農業技術大学校1年生に対し,センターの概要について講義,施設案内
フィールド科学実習	2018. 6. 12	40	当センター	県立広島大学生命環境学部2年生に対し, センターの概要紹介と施設案内
フィールド科学実習	2018. 6. 19	39	当センター	県立広島大学生命環境学部2年生に対し, センターの概要紹介と施設案内
体験学習(牛舎見学)	2018. 6. 21	37	当センター	三日市保育所の3,4才児と保育士に対 し,家畜(肉牛,乳牛)と施設について紹
体験学習(牛舎見学・搾乳体験)	2018. 7. 27	46	当センター	福山市立西深津小学校5年生に対し,搾乳 体験と施設紹介
食品衛生学フィールドワーク	2018. 8. 6	31	当センター	県立広島大学人間科学部3年生に対し,センターの概要紹介と施設案内
行政体験研修(インターンシップ)	2018. 8. 24	3	当センター	実習生(獣医学科学生)に対し、センターの概要を紹介
体験学習(牛舎見学・搾乳体験)	2018. 9. 19	23	当センター	英数学館小学校5,6年生に対し,搾乳体 験と施設紹介
排水処理堆肥化技術研修(ひろしま国際センター)	2018. 10. 5	11	当センター	中南米の排水処理技術者に対し,排水処理, 堆肥化技術に関する研修
環境保全の先端技術	2018. 10. 5	5	当センター	県立農業技術大学校2年生に対し, 飼料作物, 排水処理, 堆肥化技術に関する講義
普及指導員新任者研修	2018. 10. 18	5	当センター	新任指導員に対し、センターの概要を紹介
イネWCS視察研修	2018. 11. 8	12	庄原市	湖北(島根県)WCS生産組合に対し,飼料イ ネの栽培と利用について説明,圃場を案内
フィールド科学「庄原探訪」	2018. 12. 5	16	当センター	県立広島大学生命環境学部1年生に対し, センターの歴史と研究内容,施設を紹介
センター相互理解のための見学会	2018. 12. 21	28	当センター	総合技術研究所職員(企画部,他センター 研究員)に対し,研究内容と施設を紹介
種雄牛視察研修	2019. 2. 13	10	当センター	周南地区(山口県)畜産振興協議会に対 し、繁殖雌牛用TMRと搾乳ロボットを紹介
イネWCS,繁殖雌牛に関する視察研修	2019. 2. 26	7	当センター	双三和牛改良組合三和部会に対し、飼料イ ネの飼料特性と繁殖雌牛用TMRについて説明
種雄牛視察研修	2019. 3. 1	9	当センター	JA広島中央和牛生産部会に対し、繁殖雌牛 用TMRと周産期の飼養管理について紹介
繁殖雌牛および後代検定用種雄牛に関 する視察研修 (飼養技術研究部)	2019. 3. 25	9	当センター	庄原西地区和牛改良組合に対し、供卵牛の 飼養管理と繁殖雌牛用TMRについて紹介
家畜診療所新任者研修	2018. 5. 16	3	当センター	NOSAI広島の新任獣医師に対し、施設および
<u></u>	2018. 6. 1	51	庄原市	研究内容の紹介 県立広島大学生命環境学部の学生に対し,
	2018. 6. 8	51	庄原市	家畜の生産機能について講義 県立広島大学生命環境学部の学生に対し,
				家畜の栄養と飼料について講義 県立広島大学生命環境学部2年の学生に対
フィールド科学実習	2018. 6. 12	40	当センター 当センター	し、施設(搾乳牛舎)と研究内容の紹介 県職員に対し、和牛TMRセンターについて説
広島和牛経営発展研修	2018. 6. 13	20	三次市	明県立広島大学生命環境学部の学生に対し、
畜産学概論 	2018. 6. 15	52	庄原市	家畜の飼養管理技術について講義県立広島大学生命環境学部2年の学生に対
フィールド科学実習	2018. 6. 19	39	当センター	し、施設および研究内容の紹介
家畜人工授精に関する講習会	2018. 7. 12-8. 9	17	当センター 農技大	家畜の飼養管理,家畜(乳用牛)の審査等 に関する講義および実習
庄原市地域農業集団連絡協議会総会	2018. 7. 18	50	庄原市	飼料イネを活用した和牛TMRについて講演
体験学習(牛舎見学・搾乳体験)	2018. 7. 27	46	当センター	福山市立西深津小学校5年生に対し、搾乳ロボットや牛乳について紹介
和牛の肥育技術に関する視察研修	2018. 8. 21	13	当センター	岡山県奈義町畜産振興協議会に対し,和牛 の飼養管理について説明
行政体験研修(インターンシップ)	2018. 8. 24	3	当センター	実習生(獣医学科学生)に対し,施設および研究内容の紹介
広島県飼料稲活用·普及検討会	2018. 8. 29	50	三次市	和牛へのTMR給与について講演

 研修名	期間	人員	場所	研修内容
(飼養技術研究部)	<i>为</i>] [1]	八貝	700 171	切
体験学習(牛舎見学・搾乳体験)	2018. 9. 19	23	当センター	英数学館小学校5,6年生に対し,搾乳ロボットや牛乳について紹介
普及指導員新任者研修	2018. 10. 18	5	当センター	新任指導員に対し、施設および研究内容の 紹介
発酵TMRに関する情報交換会	2018. 11. 22	20	三次市	乳牛用TMRの給与試験について紹介
飼料米給与に関する研修	2018. 11. 28	4	当センター	西部農業技術指導所職員に対し,和牛への 飼料米給与について説明
センター相互理解のための見学会	2018. 12. 21	28	当センター	総合技術研究所職員(企画部,他センター 研究員)に対し,研究内容と施設を紹介
(育種繁殖研究部)				VIOOLITE 中の女子の内では、大学には、上文的
家畜診療所新任者研修	2018. 5. 16	3	当センター	NOSAI広島の新任獣医師に対し、施設および 研究内容の紹介
ウシ胚ガラス化保存器具視察研修	2018. 6. 4-5	6	当センター	岡山県、鳥取県、北海道の公設試職員に対し、ガラス化保存器具の取扱い方法を紹介
フィールド科学実習	2018. 6. 12	40	当センター	県立広島大学生命環境学部2年の学生に対し、施設および研究内容の紹介
畜産の先端技術、家畜改良の取組	2018. 6. 13	5	当センター	県立農業技術大学校1年生に対し、種雄牛造成、精液生産、家畜改良に関する講義
フィールド科学実習	2018. 6. 19	39	当センター	県立広島大学生命環境学部2年の学生に対し、施設および研究内容の紹介
雌雄産み分け技術共同試験 第1回検討会	2018. 6. 21	25	福島県	雌雄産み分け技術共同試験の各県担当者に 対し、ガラス化保存器具の取扱い方法を紹
家畜バイオ先端技術	2018. 6. 21	5	当センター	県立農業技術大学校2年生に対し、牛受精卵生産技術に関する講義
家畜人工授精に関する講習会	2018. 7. 12-8. 9	17	当センター 庄原市	家畜の生理,精液精子検査,人工授精等に 関する講義および実習
体験学習(牛舎見学・搾乳体験)	2018. 7. 27	46	当センター	福山市立西深津小学校5年生に対し、和牛(種雄牛)について紹介
動物バイオテクノロジー公開講座	2018. 8. 9	12	東広島市	西条農業高校生に対し、経腟採卵、体外受精, 受精卵移植に関する講義、実習
行政体験研修 (インターンシップ)	2018. 8. 24	3	当センター	実習生(獣医学科学生)に対し、施設およ び研究内容の紹介
体験学習(牛舎見学・搾乳体験)	2018. 9. 19	23	当センター	英数学館小学校5,6年生に対し,和牛 (種雄牛)について紹介
飼養試験牛の管理に関する研修	2018. 10. 17	1	当センター	島根県職員に対し、ルーメンフィステル装 着牛の処置と管理について説明
普及指導員新任者研修	2018. 10. 18	5	当センター	新任指導員に対し、施設および研究内容の 紹介
種雄牛・人工授精に関する研修	2018. 11. 8	31	当センター	広島大学生物生産学部2年生と留学生に対 し、和牛の育種改良技術について説明
体外受精胚生産に関する視察研修	2018. 11. 15	7	当センター	広島大学生物生産学部の留学生に対し,体 外受精胚生産技術について説明
種雄牛視察研修	2018. 11. 30	20	当センター	庄原西地区和牛改良組合に対し,種雄牛を経
動物バイオテクノロジー公開講座	2018. 12. 20	18	東広島市	西条農業高校生に対し、体内採卵、受精卵移植に関する講義、実習
センター相互理解のための見学会	2018. 12. 21	28	当センター	総合技術研究所職員(企画部、他センター研究員)に対し、研究内容と施設を紹介
種雄牛視察研修	2019. 2. 13	10	当センター	周南地区(山口県)畜産振興協議会に対し、種雄牛を紹介
凍結精液,受精卵製造に関する意見交 換	2019. 2. 21	3	当センター	神奈川県の職員および企業、大学に対し、 凍結精液と受精卵の製造について説明
種雄牛視察研修	2019. 3. 1	9	当センター	JA広島中央和牛生産部会に対し、種雄牛を紹介
種雄牛関連施設の視察研修	2019. 3. 14	4	当センター	広島市食肉衛生検査所の獣医師に対し、凍 結精液と受精卵の製造について説明
繁殖雌牛および後代検定用種雄牛に関 する視察研修	2019. 3. 25	9	当センター	庄原西地区和牛改良組合に対し,後代検定 用交配対象種雄牛を紹介

6 主要行事

<u> </u>	土安仃	尹			
	期		間	主 要 行 事	場所
7	平成30年	4月	2	着任式	当センター
			5	農林水産局所長会議	県庁
			11	農村振興課長等会議	県庁
			12	畜産振興事業会議	県庁
			13	畜産アクションプログラム会議	県庁
			26	総合技術研究所運営会議	県庁
		5月	5	第51回七塚原写生大会	当センター
		0)1	15	試験研究設計検討会	当センター
			16	NOSAI新人獣医師研修	当センター
			$26 \sim 27$		埼玉県
		6月		総合技術研究所運営会議	場 県庁
		6月	1		
			12	県立広島大学(生命環境学部)フィールド科学実習	当センター
			13	広島和牛経営発展研修	当センター、三次市
			18~19	全国畜産関係場所長会議	東京都
			19	県立広島大学(生命環境学部)フィールド科学実習	当センター
			26	広島和牛経営発展研修	県庁
			27	総合技術研究所運営会議	県庁
		7月	2	バイオテクノロジー推進協議会(総会・講演会)	広島市
			12~8/10	家畜人工授精に関する講習会	当センター,農業技術大学校
			30	総合技術研究所運営会議	県庁
			31	近畿中国四国農業研究推進会議本会議	福山市
		8月	2	農林水産関係技術開発・普及・行政総合連携会議畜産専門部会	
		- / •	6	県立広島大学(人間文化学部)食品衛生学実験フィールドワーク	当センター
			8	畜産関係新規採用職員研修	当センター
			21	研究課題進捗検討会	当センター
			22	地肥共励会(審査)	当センター
			24	堆肥共励会(総会·研修会)	当センター
			27	総合技術研究所運営会議	県庁
			28	広島和牛経営発展研修	当センター
			30~31	中国四国畜産関係場所長会議	徳島県
		ο П		広島和牛経営発展研修	心局県 当センター
		9月	10		
			27		庄原市
			27	広島和牛経営発展研修	当センター
			28	北部地域管理職同和問題研修	三次市
		10月	5	広島国際センターJICA排水処理研修	当センター
			10	人権問題職場研修	三次市
			18	普及指導員1年目研修	当センター
			29	総合技術研究所運営会議	県庁
			31	人権問題職場研修	庄原市
		11月	1	一斉地震防災訓練	当センター
			8	広島大学(生物生産学部)ウシ精液についての研修	当センター
			9	基盤研究進捗検討会	当センター
			15	広島大学(生物生産学部)ウシ体外受精卵についての研修	当センター
			30	広島県研究開発評価会議	県庁
	ŀ	12月	4	広島県畜産共進会枝肉の部	広島市
		•	6	北部人権研修	庄原市
			11	北部人権研修	三次市
			14	研究成果発表会	三次市
			25	県立広島大学共同研究報告会	広島市
			26	総合技術研究所運営会議	県庁
			20		NN/1

期		間	主 要 行 事	場所
平成31年	1月	21	危険物・劇毒取扱いに関する研修会	当センター
		22	研究課題進捗検討会	当センター
		23~24	近畿中国四国農業試験研究推進会議試験研究推進部会	福山市
		30	総合技術研究所運営会議	県庁
	2月	7	広島バイオテクノロジー推進協議会及び研究発表会	広島市
		27	総合技術研究所運営会議	県庁
		28	人権問題職場研修	当センター
	3月	1	人権問題職場研修	当センター
		13	畜産GAP関係研修会	東広島市
		15	試験研究成果移転検討会	当センター
		20	基盤研究成績検討会	当センター
		25~27	日本草地学会	東広島市
		26	総合技術研究所運営会議	県庁
		27~30	畜産学会	東京都

7 技術指導

_/]文的]日守	
業種名	件数
肉用牛 (繁殖)	39
肉用牛 (肥育)	16
肉用牛 (一貫)	91
酪農	26
特用家畜(山羊・めん羊・馬等)	10
耕種農家	20
農業法人(集落営農法人・会社法人)	33
協同組合	149
獣医師	18
家畜人工授精師	13
行政機関	357
研究機関	120
医療機関	1
教育機関	112
製造業(飼料・肥料)	30
製造業 (医薬品・医療機器等)	19
製造業 (機械器具・電子部品等)	36
報道機関	4
一般(個人)	11
その他	53
計	1158

VI 業務実績の概要

1 家畜管理業務

(1) 乳用牛

ア 飼養頭数 (頭)

	年度	増								減						
	始	生	購	保	分	転	合		売	保	分	転	死	合	末	
	頭			管	類					管	類				頭	
	数	産	入	換	換	記	計		払	換	换	記	亡	計	数	
種雌牛	27				8	21	29		9			18		27	29	
フィステル牛	3														3	
乾乳牛	7					18	18					21		21	4	
育成雌牛	10				11		11				7			7	14	
雄子牛																
雌子牛	11	13					13		2		11			13	11	
受卵牛	8	6					6		8		1			9	5	
合 計	66	19			19	39	77		19		19	39		77	66	

イ 牛乳生産及び処分

	和工座及りたり			(kg)
	月末			
月	頭数 (成牛)	生産量	廃棄	出荷数量
30/4	24	20, 477. 8	1,532.6	18, 945. 2
5	25	20, 634. 9	1, 115. 1	19, 519. 8
6	31	22, 210. 7	263.4	21, 947. 3
7	33	28, 958. 5	763.8	28, 194. 7
8	33	33, 391. 2	246.1	33, 145. 1
9	34	28, 911. 5	478.8	28, 432. 7
10	34	32, 131. 9	870.7	31, 261. 2
11	29	29, 516. 1	1, 444. 9	28, 071. 2
12	26	26, 753. 5	575. 2	26, 178. 3
31/1	29	22, 384. 6	136.2	22, 248. 4
2	32	22, 533. 2	684.5	21, 848. 7
3	29	28, 663. 8	343.6	28, 320. 2
計	359	316, 567. 7	8, 454. 9	308, 112. 8

ウ 個体別泌乳成績一覧

No	ネックNo 名号	分娩年月日	産次	乾乳年月日	総乳量(kg)	搾乳日数(日)	最高乳量(kg)	最高乳量到 達日(日)*	305日乳量(kg)	乳脂率(%)	乳タンパク質 率(%)	乳糖率(%)	SNF率(%)
1	R218 R218号	2017/04/29	2	2018/04/04	15,094	336	55.8	54	14,187	3.33	2.85	4.65	8.50
2	R216 R216号	2017/05/09	2	2018/04/06	10,501	328	47.2	57	10,229	4.20	3.45	4.98	9.43
3	R123 コランサ ライサ゛ー チャンピ゚オン	2016/09/16	1	2018/04/11	14,892	526	37.5	65	9,268	4.55	3.83	4.53	9.36
4	R112 クイーンベッシー シト゛ レット゛マン E´	I 2017/04/11	3	2018/04/14	13,083	364	47.2	67	11,356	4.22	3.59	4.37	8.96
5	R226 R226号	2017/05/04	2	2018/05/13	16,005	370	56.2	44	13,994	3.36	3.17	4.57	8.74
6	R120 クイントップ ユーシ゛ロー ハーシュ	2016/11/17	1	2018/07/04	18,498	525	46.6	80	11,902	3.22	3.25	4.69	8.94
7	R224 R224 号	2017/06/29	1	2018/08/07	13,234	401	42.0	57	10,520	3.66	3.41	4.65	9.06
8	R127 2 スノー シト゛コ゛ールト゛ ET	2017/10/27	2	2018/09/10	9,424	314	45.5	30	9,347	4.55	3.45	4.67	9.12
9	R124 ポ°シュ ユーシ`ロー ノマト゛	2018/03/03	2	2018/10/09	8,594	216	56.7	44	10,768	4.43	3.16	4.68	8.84
10	R128 マラソン ゴールト・ト・リーム スクリーチ	2016/10/02	1	2018/10/19	23,290	541	41.4	59	11,193	3.69	3.18	4.51	8.69
11	R110 アト・ヘ・ント ランヘ゜ーシ゛ ET	2017/10/25	4	2018/10/22	12,660	389	43.5	88	10,957	3.99	3.47	3.83	8.30
12	R115 ビーマー セルシー リート ET	2018/10/04	3	2018/11/14	136	36	-	_	_	_	_	_	_
13	R104 クイーンベッシー ハーシュ レット・マン	2018/09/02	4	2018/11/14	2,234	69	42.3	55	-	4.38	2.87	4.32	8.19
14	R221 R221号	2018/06/04	3	2018/11/14	5,593	159	44.3	17	9,110	4.11	2.97	4.63	8.60
15	R114 ポシュ アニー ノマト	2016/07/18	2	2018/11/15	29,501	846	51.0	163	12,263	3.97	3.13	4.62	8.75
16	R223 R223号	2017/03/15	1	2018/11/16	18,577	530	43.7	50	11,402	4.19	3.48	4.81	9.29
17	R231 KKB レカリア バカンス	2017/08/03	1	2018/12/06	13,566	486	35.1	315	8,827	4.46	3.75	4.56	9.31
18	R121 ポ°シュ マーキュリー ノマト゛	2017/11/13	2	2018/12/06	15,690	384	54.8	74	13,287	3.88	3.27	4.50	8.77
19	R228 R228号	2018/02/26	1	2018/12/13	11,236	286	49.2	113	11,618	3.83	2.98	4.51	8.49
20	R120 クイントップ ユーシ゛ロー ハーシュ	2018/09/24	2	2018/12/27	3,996	90	56.0	38	10,414	3.31	2.78	4.60	8.38
21	R122 クイーン ライサ゛ー チャンピ゚オン	2017/12/08	2	2019/01/25	15,950	409	54.6	45	13,365	4.20	3.27	4.64	8.91
22	R24 マラソン ト゛ミノ サターン	2013/01/31	6	2019/02/06	54,916	543	72.9	72	16,591	3.89	3.03	4.13	8.16
23	R117 スノー ヘフティ コ゛ールト゛ ET	2018/03/30	3	2019/02/27	13,107	329	54.2	74	12,596	3.97	3.39	4.72	9.11
24	R229 R229号	2018/03/26	1	2019/02/27	10,884	334	43.1	94	10,221	4.16	3.30	4.84	9.14
25	R125 ポ゚シュ モンフブラン ボギー	2018/06/26	1	2019/03/08	10,487	251	53.2	90	11,766	3.39	2.94	4.67	8.61
26	R132 マラソン エホ゛ニー ドミノ ET	2018/04/18	2	2019/03/08	11,425	320	45.4	63	11,005	4.64	3.69	4.67	9.36
		平均值			14,330	361	49	76	11,508	3.98	3.27	4.57	8.84
	実体に口間の正わ目言刻 目がは	± 標準偏差			10,308	174	8	58	1,831	0.42	0.29	0.23	0.38

*:連続5日間の平均最高乳量到達の初日

(2) 肉用牛

ア 飼養頭数

区	年度		増減											年度			
·	始	生	購	使	分	借	返	委	合	売	死	使	分	返	委	合	末
分	頭			用	類							用	類				頭
	数	産	入	換	換	入	還	託	計	払	亡	換	換	還	託	計	数
種雄牛	15				2				2	2						2	15
直接検定牛	5		1		1				2	1			2			3	4
供卵牛	22	2	3						5	7						7	20
借上げ供卵牛	0					1			1					1		1	0
育成牛	1				1				1							0	2
雄子牛	4	10							10	7			1			8	6
雌子牛	1	8							8	1	1					2	7
検定肥育牛	1								0							0	1

イ 精液の生産利用状況

9

58 20

13

研究肥育牛

計

(本)

(頭)

区	分	前年度 繰越	受け入れ				払い出し				
	20		生産	所管換	計	譲渡	所管換	試験用	廃棄	計	繰越
肉用	月牛	87, 271	3, 514		3, 514	1,999		620	2, 725	5, 344	85, 441

27

38

2 飼養家畜名簿

((1) 乳用牛 (平成31年3月末現在)										
No	ネック	番号	名 号	父の略号	母名号	登録番号	生年月日	最近分娩	産次		
1	赤		クイーン タイタニック エルヒーロース゛リリー		クイーン エルヒーロース゛ロヒ゛ー リリー	1214291901	2005/4/11	2009/8/6	3		
2	赤		マラソン スクリーチ アイカー	4H09198	マラソン アイガー クリント マーストニー	1230631354	2006/9/22	2009/8/29	2		
3	赤		マラソン マセラティ スクリーチ ワン フタゴ	5H53241	2 マラソン スクリーチ アイカー ET	0841775334	2010/4/27				
4	赤		クイーン アニー アシリー ET	5H52428	クイーン アシリー マーストニー	1335385015	2011/7/1	2018/6/23	4		
5	赤		ク [・] ロモント セフ [°] テンハ [・] ー サリーオリー		グロモント サリーオリー ト、ミノ ET	1337084695	2011/11/28	2017/10/26	4		
6	赤		アト・ヘント ランページ RED	7H7872	HN スルナム ランペーシ゛ウイン RED ET	1337084718	2012/1/2	2019/1/28	5		
7	赤土		クイーンヘッシー シト・レット・マン ET		クイーンベッシー レット・マン エルトン アラン	1337084855	2012/8/22	2018/6/14	4		
8	赤土		ポシュアニー ノマト゛	5H52428	ポシュノマト・ラモン	1337084930	2013/1/6	2016/7/18	2		
9	赤土		2 フェサン アニー ハ°ワー	52428	フェサンン パワー セイバー ET	1348785062	2013/4/29	2018/10/2	3		
10	赤赤		スノー ヘフティ ゴールド ET	1H2531	HN スノー ゴールト゛ルナ ET HNスリナムランヘ゜ーシ゛ウィンレット゛ ET	1348785123	2013/7/30	2018/3/30	3		
11	赤		ランページ゛インフラルージュ RED ポシュ マーキュリー ノマト゛		ポシュ /マド ペイトリアーク	1348785154	2013/9/6	2018/5/30	3		
12 13	赤		か シューマーヤュリー・フマト クイーン ライサ・ー チャンピオン	3H54059 3H54332	クイーン チャンピオン タイタニック ET	1348785222 1348785239	2013/12/18 2014/1/5	2019/1/22 2019/3/13	3		
14	赤		コランサ ライサー チャンヒペン	3H54332	コランサ チャンヒペオン ルト・ルフ ET	1381885484	2014/1/3	2019/3/13	2		
15	赤		2 スノー シト ゙ ュ ゙ールト ˙ ET		HN スノー ゴールト ルナ ET	1381885347	2014/1/11	2019/1/15	3		
16	赤		マラソン ゴールト・トリーム スクリーチ	3H53959	2 マラソン スクリーチ へ。イトリアーク	1381885354	2014/9/15	2019/1/13	2		
17	赤		グロモント モンブラン アニー	4H53351	2 0 To	1381885439	2014/3/13	2019/1/31	1		
18	赤		ランページ シド セプテンハー		HN スリナム ランペーシ ウイン RED ET	1343085938	2014/10/13	2019/2/19	1		
19	赤		グロモント ジョヒアン セプテンバー	5H53812	グロモント セプテンハー サリーオリー	1343085563	2015/8/31	2019/3/19	1		
20	赤		ポ°シュト゛リーム アニー	3H53959	ポシュアニー ノマト	1343085693	2016/3/20	2019/2/1	1		
21	赤		コランサ ジャスティスネオ チャンピオン ET	3H53440	コランサ チャンピオン セイバー ET	1521185993	2016/8/22	2018/7/14	1		
22	赤		フェサン クレイタス アニー ET	5H54028	フェサン アニー ハプー	1527486049	2016/10/20	2018/8/19	1		
23	赤		スノー スマーク ヘフティ	5H55214	スノー ヘフティ ゴールト ET	1527486056	2017/1/22	2010/0/13	1		
24	赤		アイダ、スマーク」アニー	5H55214	アイタ゛アニー シェスロ ET	1521185962	2017/3/4				
25	赤		アイダ゛スマーク」 シェスロ ET	5H55214	アイタ゛アニー シェスロ ET	1421286165	2017/5/16				
26	赤		2 グロモント スマーク J フロイト ET	5H55214	2 グロモント フロイト・トミノ ET	1421286240	2017/9/5				
27	赤		アト・ヘント ラストショー ランペーシ	5H55329	アドヘント ランペーシ RED	1421286226	2017/10/25				
28	赤		グロモント ラストショー セプ・テンハー	5H55329	グロモント セプテンハー サリーオリー	1421286233	2017/10/26				
29	赤		スノーツー ラストショー シト゛ 1 フタコ゛	5H55329	2スノー シト゛コ゛ールト゛ ET	1421286264	2017/10/27				
30	赤	145	スノーツー ラストショー シト゛2 フタコ゛	5H55329	2スノー シド ゴールド ET	1421286257	2017/10/27				
31	赤	146	ポシュ ラストショー マーキュリー	5H55329	ポシュ マーキュリー ノマト゛	1421286271	2017/11/13				
32	赤	147	スノーワン ラストショー シト゛	5H55329	1スノー シト゛コ゛ールト゛ ET	1421286288	2017/12/6				
33	赤	148	クイーン スマーク ライサ゛ー	5H55214	クイーン ライサ゛ー チャンピ゚オン	1570286337	2017/12/8				
34	赤	149	2 ポ°シュ ラストショー トレヒ′ノ ET	5H55329	2 ポシュトレビノ アイオン	1421286295	2018/2/26				
35	赤	150	ポ°シュ ラストショー ユーシ゛ロー	5H55329	ポシュ ユーシ゛ロー ノマト゛	1421286301	2018/3/3				
36	赤	151	マラソン ラストショー コールトトリーム ET	5H55329	マラソン ゴールト゛ト゛リーム スクリーチ	1570286351	2018/3/30				
37	赤		ランヘ゜ーシ゛ エステイロータ゛ インフラルーシ゛ュ	5H55983	ランヘ゜ーシ゛ インフラルーシ゛ュ RED	1570286382	2018/5/30				
38	赤		クイーンヘ゛ッシー エスティロータ゛ ハーシュ ET	5H55983	クイーンヘ゛ッシー ハーシュ レット・マン	1570286399	2018/6/4				
39	赤		コランサ エステイロータ゛ライサ゛ー	5H55983	コランサ ライサ゛ー チャンピ゜オン	1570286429	2018/6/19				
40	赤		クイーン エモーション アニー	5H55552	クイーン アニー アシリー ET	1570286436	2018/6/23				
41	赤		クイーントップ゜エスティロータ゛ユーシ゛ロー	5H55983	クイントップ ユーシ゛ロー ハーシュ	1570286511	2018/9/24				
42	赤		フェサ゛ン エスティロータ゛ アニー	5H55983	2 フェサン アニー ハプー	1383086780	2018/10/2				
43	赤土		スノーツ グレイブ・シト・フタコ・ワン	5H55782	2スノー シト ゴールト ET	1383086742	2019/1/15				
44	赤土		スノーツ グレイブ シト フタコ ツウ	5H55782	2スノー シト ゴールト ET	1383086759	2019/1/15				
45	赤土		メイプル ラストショー スタート	5H55329	R228	1383086766	2019/1/22				
46	赤土		ポシュ グレイブ マーキュリー		ポシュ マーキュリー ノマト	1383086773	2019/1/22				
47	赤土		クイーンベッシー スノーフレーク ET	D-678530	クイーンベッシー ハーシュ レット・マン	1383086544	2019/1/28				
48	赤		0482-4			1445204824	2014/1/26	0010/7/10	0		
49	赤		0490-9			1445204909	2014/2/7	2018/7/16	3		
50	赤去		0493-0			1445204930	2014/2/11	2019/2/13	3		
51 52	赤赤		0495-4 8134-0			1445204954	2014/2/12 2013/12/25	2018/5/30	3		
53	赤		8134-0 8135-7			1343181340 1343181357	2013/12/25 2013/12/25	2018/4/3 2018/3/11	2		
54	赤		8400-3			1348784003	2013/12/23	2018/3/11			
55	赤		0833-4					2019/2/11 2018/10/3	2		
56	赤		0840-2			1445208334 1445208402	2013/12/23 2013/12/28	2018/10/3	2 2		
57	赤		0840-2 0848-8			1445208488	2013/12/28	2018/7/11	3		
58	赤		8500-1			1350585001	2014/1/1 2015/2/2	2018/7/11	1		
59	赤		5477-8			1454754778	2015/2/2	2018/6/19 2019/1/22	2		
60	赤		5477-8 5476-1			1454754761	2015/1/8	2019/1/22 2018/3/26	1		
61	赤		0176-7		KKB レカリア ハカンス	1484001767	2015/1/2	2018/3/20	2		
UΙ	小	431	V11V 1	l	IND VN II / NV/	1404001101	4010/1/31	4019/4/18			

(2)肉用牛

ア 種雄牛

(平成31年3月末現在)

<i>b</i> □	松臼. 五口	北 左日日	고는 Hh	íп.	統	審査
名 号	登録番号	生年月日	産地	父	母	得点
勝白福	黒原 5511	H22. 09. 15	庄原市西城町	勝白	きのした	84. 0
				(黒原 3849)	(黒原 1288289)	
3柴沖茂	黒原 5651	H23. 04. 06	三次市甲奴町	沖茂金波	3しばらぎ4	87.8
				(黒原 4585)	(黒 2132372)	
芳乃照	黒原 5786	H24. 06. 05	庄原市七塚町	田安照	よしの1	82.3
				(黒原 4866)	(黒原 1234466)	
里百合	黒原 5917	H25. 03. 03	庄原市七塚町	美津百合	さとはる	83. 4
				(黒原 4990)	(黒 2110563)	
神忠美津	黒原 5918	H25. 08. 30	神石郡神石高原町	美津百合	かみただみつ	85. 2
				(黒原 4990)	(黒原 1407606)	
茂波竜	黒原 5999	H26. 03. 25	庄原市七塚町	沖茂金波	7たかりゅう	83.8
				(黒原 4585)	(黒原 1182250)	
黒笹波	黒 15181	H26. 08. 17	神石郡神石高原町	沖茂金波	くろささ2	83. 4
				(黒原 4585)	(黒原 1480498)	
豊神山	黒原 6092	H27. 04. 10	神石郡神石高原町	美津百合	ふくこ	85. 5
				(黒原 4990)	(黒原 1369808)	
花勝美	黒 15317	H27. 04. 16	庄原市七塚町	美津百合	はなひら	83. 0
				(黒原 4990)	(黒 2321708)	
花勝百合	黒 15316	H27. 11. 17	庄原市七塚町	美津百合	はなひら	83. 4
				(黒原 4990)	(黒 2321708)	
福梶大柴	黒原 6160	H28. 01. 06	庄原市七塚町	3 柴沖茂	ふくかじかわ 7	85.8
				(黒原 5651)	(黒原 1450732)	
大柴1	黒原 6159	H28. 02. 20	庄原市峰田町	3 柴沖茂	どいばら8の3	87. 2
				(黒原 5651)	(黒原 1338081)	
立烏帽子	黒原 6162	H27. 12. 16	世羅郡世羅町	烏帽子	よこたやたつ1	86.8
				(黒 15068)	(黒 2385890)	
紅神照	黒原 6238	H28. 10. 1	庄原市七塚町	田安照	ゆりさわ	85. 0
				(黒原 4866)	(黒原 1515952)	
百合沢照	黒原 6239	H28. 10. 2	庄原市七塚町	田安照	ゆりさわ	86. 0
				(黒原 4866)	(黒原 1515952)	

イ 供卵牛

(平成31年3月末現在)

					(平成 31 平 3 月 木	
				血	統	登録
名号 	登録番号	生年月日	産地	父	母方祖父	得点
しげなが64	黒原 1288301	H15.3.26	庄原市東城町	美津福	宝栄 2	83.1
みずぐち5521	黒原 1427017	H18.12.14	北広島町大朝	平茂勝	牛若丸 (長崎)	81.0
ひめ	黒 2310180	H19.9.24	東広島市西条町	勝忠平	平茂勝	84.0
きしふく 3	黒原 1462025	H20.2.10	庄原市東城町	原平茂	福栄	80.3
ゆりさわ	黒原 1515952	H22.1.20	庄原市七塚町	百合茂	平茂勝	83.0
ただみ	黒原 1522570	H22.3.19	庄原市七塚町	勝白	美津福	83.0
きのこ	黒原 1540677	H22.7.23	庄原市七塚町	勝白	平茂勝	81.1
かりん	黒原 1540675	H22.10.9	庄原市七塚町	勝白	美津福	82.0
2やすふくしま	黒原 1559504	H22.12.14	三次市三原町	安福久	平茂勝	83.0
やよい	黒原 1559496	H23.2.24	庄原市七塚町	沖茂金波	平茂勝	81.7
れもん	黒原 1604561	H24.5.13	庄原市七塚町	田安照	百合茂	84.2
13ゆき2	黒 1631459	H25.3.17	神石郡神石高原町	紅勝富士	勝白	81.2
ゆりはる	黒原 1637488	H25.4.29	庄原市七塚町	美津百合	福栄	85.3
ふくひめ	黒 2454776	H25.5.8	東広島市西条町	福安照	勝忠平	81.6
はるみ	黒 2493893	H26.4.29	庄原市七塚町	安茂晴	田安照	84.3
きよみ	黒原 1683475	H26.8.19	庄原市七塚町	安福久	北国7の8	81.2
てんふじひさ5	黒原 1700862	H27.12.16	庄原市西城町	3 柴沖茂	安福久	84.1
さわはる	黒 2568640	H28.4.23	庄原市七塚町	美津照重	安茂晴	82.5
ふくひめてる	黒原 1753425	H29.6.29	庄原市七塚町	田安照	福安照	83.5
てるみ	登録申請中	H29.10.6	庄原市七塚町	原平茂	福栄	-

圃場管理業務 3

(1) 圃場の概要

圃場の面積は、19haを有しており、そのほとんどが小さな丘陵状である。 12本の渓流が場内を流れており、地下水位の高い箇所もある。 このため、大型機械による管理に恵まれた地形ではない。土壌は、流紋岩及び凝灰岩に由来する褐色

粘土質土に腐食質黒色火山灰土が被覆している。

(2) 圃場管理用機械の概要

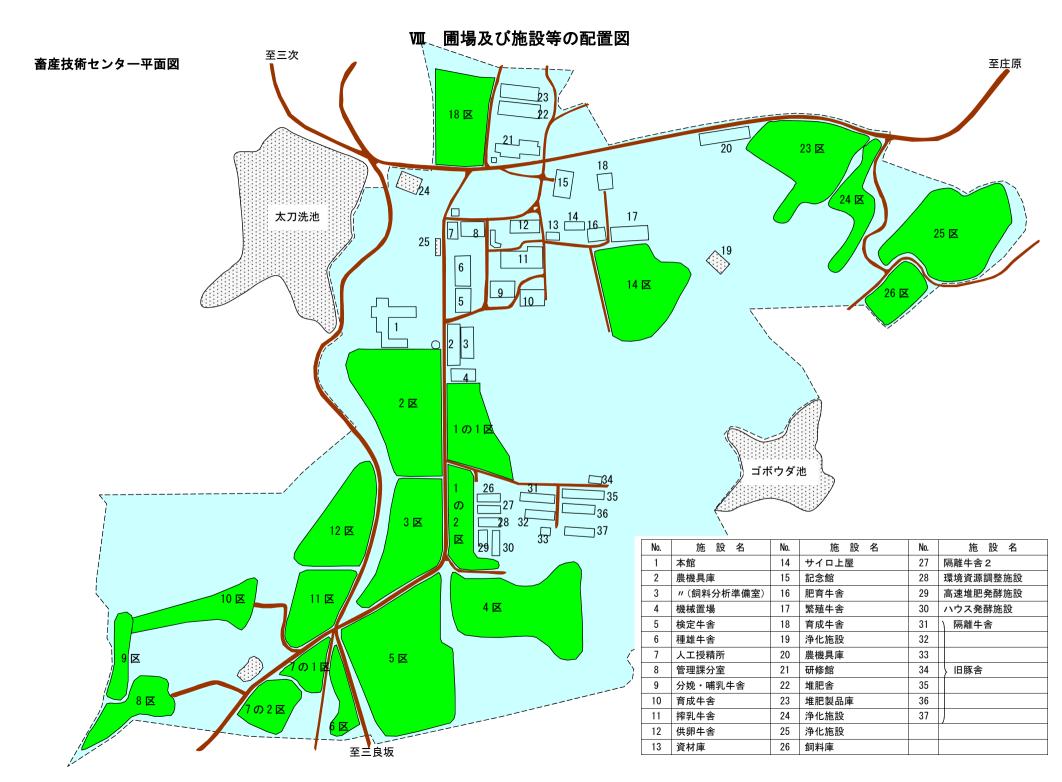
品名	規格	取得年月	먑	1	名	規格	取得年月
特殊自動車	フォート * 4000B型トラクター	S47. 4	運	搬	車	ダンプトレーラー ネット付(2t)H11ら	Н 1. 8
	フォードトラクター安全フレーム付6600	S54. 5				ダンプトレーラー HD(2t)H11ら16	Н 2. 6
	トラクターフォート゛6600前後ウェイト	S57. 5				ダンプトレーラー (2t)H11ら17ス	Н 3. 7
	フォート 4610トラクター62 Ps2WD	S58. 10				クホ゛タELL801	Н 8. 4
	トラクター6610D/P-4WDOG79	S62. 4				バケットダンプ式ホイル型クボタセ30ー	S58. 3
	トタクターフォート゛シ゛ェヒ゛リ7810	Н 2. 4				SE410D	Н 1. 1
	トラクターフォート゛6610	Н 3. 4				へ゛ールクリッハ゜ーMBG1031	H18. 3
	マイスターロータ゛ーL785 マニアフォー	Н 5. 8				乗用運搬車ES672MCDP	H23. 7
	トヨタショヘ゛ル 3SDK4	Н 8. 3	1	レー	ラー	2tダンプ式	S38. 3
	フロントロータ゛ー トリマ1390	H10. 4				2tダンプ式	S40. 3
	ヤンマー ミニハ゛ックホーB50-1-PRPTOA	H11. 3				ダンプトレーラーデリカ10D(2t)HI	S56. 10
	トラクターフォート TS90 80DS CAB付き	H13. 2				ダンプトレーラーデリカ10D(2t)HI	S59. 5
	ホイルロータ゛ WA30-6	H26. 1	荷	造	機	ニューホラント゛276型 (ヘイベーラー)	S51. 5
すき	リハ゛ーシフ゛ルフ゜ ラウTRY173 (スカ゛ノ式)	Н 2. 6	コ	ンべこ	アー	巾60cm長さ巻5m(上げ3相モーター)	S57. 6
播種機	ジェットシーダーJS4100 4条	S58. 5	散	布	機	マニアパン付き155	Н 7.12
	ジェットシーダー高北JS4102	Н 7. 4	ĮΙχ	取	機	ロータリーモアー・ヤンマーYRM8210	Н 5. 3
牧草調整機	自走式ラッピングマシーン SW101WY	Н18. 3				タカキタMC 30DX-SK	S61. 3
	切断型ロールベーラー MR-810	Н18. 3				JFGCS210	S52. 4
	ヘーメーカーヤンマーSFT80LHM	Н 7. 3				NH718	S55. 10
	ロールへ、ーラーヤンマーYRBA-7SD	Н 7. 3				NH2条	S55. 10
	자카-式 MGT3800	S56. 5				NH770-W169	S55. 10
	RS340XJF	Н 5. 8				ヘイハ゛ イン474ニューホラント゛ 221	S61. 4
	SPMRS-180	H 4. 4				ロークロッフアタッチ フォート゛ニューホラント゛	Н 1. 8
散布機	SPMNR351	H 4. 4				フォーレーシ゛ハーヘ゛スターフォート゛ニューホラント゛	H 2. 4
	ニューホラント 848	H 4. 4				ニューホラント゛718用717S	H 4. 4
	S116-TS400A	S55. 6	草	ĮΙχ	機	クボタ動力草刈機	Н 8.10
	ニューホラント、202型	S50. 3				草刈機MASAO	H22. 4
運 搬 車	ニューホラント、513型	S60. 4	耕	転	機	KI-85LPST(付属)鎮圧ローラー	S61. 4
	TUC4010	Н 6. 4				クホ [*] タK7D	S52. 4
	動力式GH221	S59. 12	砕	土	機	K型ローラーTKR2500 2.5m スター	S62. 4
	GH221	S61. 12				ハ゜ディハローPHN367T-4L	Н 9. 3
	REC0266	S55. 10					

作物名	作付	品種	播種期	播種量	施肥		収穫			仕向量	
1F10/10	面積	口口作里	簡性別	爾俚里	施肥	施肥量	収穫期	平均収量	総収量	サイレーシ゛	乾草
	ha			kg		kg		t/ha	t	t	1
イタリアンライク゛ラス					牛ふん	33,000					
6区,19区,23区	2.6	さつきばれ	9月	78	鶏ふん	7,400	5月	8.50	22.1	22.1	
					硫安	320					
					尿素	50					
イタリアンライク゛ラス					牛ふん	48,000					
2区,8区,12区,18区	4.4	いなずま	9月	132	鶏ふん	15,200	5月	8.98	39.5	39.5	
					硫安	340					
					尿素	50					
イタリアンライク゛ラス					牛ふん	72,000					
3区,5区,7-1区	7.1	ジャイアント	10月	213	鶏ふん	20,200	6月	8.48	60.2	60.2	
7-2区,9,10,24区					尿素	160					
ライ麦					牛ふん	6,000					
1-1,1-2区	0.7	春一番	10月	24	鶏ふん	1,600	6月	5.14	3.6	3.6	
ライ麦					牛ふん	37,500					
4区,11区	2.4	春香	10月	144	鶏ふん	2,400	5月,6月	3.54	8.5	8.5	
					尿素	180					
トウモロコシ		7.1 = ">.1		粒	牛ふん	37,500					
2区, 18区	1.39	スノーテ゛ント 108	5月	102,421	鶏ふん	3,200	8月	#DIV/0!	5.60	5.60	
					硫安	520					
トウモロコシ		71 = 1.1+1		粒	牛ふん	45,000					
4区	1.48	スノーデントお とは	5月	101,263	鶏ふん	4,000	8月	#DIV/0!	39.20	39.20	
					硫安	500					
トウモロコシ		71 =*>.1		粒	牛ふん	25,000					
12区	1.06	スノーデント 118s	5月	72,526	鶏ふん	2,400	8月	#DIV/0!	31.20	31.20	
					硫安	350					
トウモロコシ		7.1—=**.L		粒	牛ふん	36,000					
23区	1.91	スノーテ゛ント SH4812	5月	130,684	鶏ふん	4,800	8月	#DIV/0!	53.60	53.60	
					硫安	600					
ソルカ゛ム	0.30	葉月	6月	q	牛ふん	4,500	9月	10.40	3.12	3.12	
1-1区		水川	071	3	1 23.70	-1,000	٠,	10.40	0.12	0.12	
ソルカ゛ム	0.40	高糖分ソル	6月	16	牛ふん	6.000	8月	16.20	6.48	6.48	
1-2区		⊐"−DH	077	10	1 200	0,000	0/3	10.20	0.40	0.40	
スータ゛ンク゛ラス	0.90	スーダングラス	6月	45	牛ふん	14,000	8月	7.33	6.60	6.60	
3区		乾草	071	70	鶏ふん	700	0/3	7.00	0.00	0.00	
スーダングラス	5.20	スーダングラス	6月	260	牛ふん	35,000	7月,8月,	13.70	71.24	71.24	
5, 8, 11区		パイパー	0,7	200	鶏ふん	1,280	9月	13.70	/1.24	/1.24	
合 計	29.84							7.1	211.44	211.44	

(総収量÷作付面積)

平成30年	度気象表			(気温は平均,	降水量・日照	時間は合計)				
		庄 原 市								
月	半旬		気 温(%	C)	降水量	日照時間				
		平均	最高	最 低	(mm)	(h)				
	1 2	14. 5 7. 7	23. 7 15. 0	7. 4 1. 4	1. 5 16. 5	33. 3 22. 3				
4	3	12. 6	19. 1	5. 7	10. 0	21. 0				
4	4	13. 0	22. 9	4.9	0.0	41.0				
	5 6	15. 6 14. 7	23. 0 24. 8	8. 2 6. 2	59. 5 0. 0	29. 5 45. 5				
	1	14. 8	21. 9	7. 7	36. 0	36. 1				
	2	12.8	18. 3	8.4	106.0	17. 9				
5	3 4	17. 0 18. 2	25. 2 24. 9	9. 9 11. 7	26. 5 25. 0	42. 0 18. 7				
	5	17.6	25. 3	10.5	24. 5	44. 3				
	6	19. 3	25. 1	14. 2	5. 0	18. 8				
	1	19. 0	27. 5	11. 5	31. 5	47. 4				
	2 3	20. 1	25. 1 24. 1	16. 2 12. 6	46. 0 15. 0	23. 9 27. 9				
6	4	20. 8	26. 8	15. 7	57. 0	31. 1				
	5	21. 7	29.8	15. 5	0.0	38. 6				
	6	23. 3 24. 6	27. 1 28. 7	20. 1 21. 5	58. 5 130. 0	5. 1 16. 1				
	2	23. 0	27.6	19. 7	285. 5	17. 5				
7	3	27. 0	34. 0	21. 6	0.0	43. 1				
I '	4 5	28. 5 27. 8	36. 1 35. 3	22. 8 22. 0	0.0	54. 4 53. 8				
	6	26.8	32.8	22. 5	29. 5	53. 9				
	1	28. 0	35. 5	22. 1	0.0	57. 9				
	2	25. 5	32. 5	19.6	0.0	38. 9				
8	3 4	27. 5 22. 8	34. 3 30. 3	23. 0 16. 2	18. 5 24. 0	34. 0 40. 5				
	5	28. 2	34. 5	23. 6	2.0	33. 9				
	6	25. 3	33. 0	21. 0	19. 5	28. 1				
	$\frac{1}{2}$	23. 1	28. 6 23. 5	18. 7 17. 4	75. 5 103. 5	25. 0 3. 2				
9	3	21. 3	26. 1	18. 5	43. 0	8. 3				
9	4	20. 9	26. 0	17. 3	24. 0	17. 9				
	5 6	19. 5 16. 9	24. 0 21. 8	16. 1 13. 1	9. 5 117. 5	10. 4 17. 5				
	1	17. 5	23. 5	12. 1	2. 0	21. 9				
	2	19. 5	25. 0	15. 4	6.5	20.6				
10	3 4	13. 5 13. 4	20. 3 21. 1	8. 6 8. 8	5. 5 1. 5	22. 6 26. 2				
	5	12. 4	20. 4	6. 3	7. 0	29. 1				
	6	10.6	16. 7	5. 8	11.0	18. 4				
	1 2	9. 1 12. 3	18. 3 20. 0	3. 0 6. 6	0. 0 17. 0	28. 1 21. 1				
1.1	3	8. 6	15. 3	3.8	2.5	16. 6				
11	4	8. 4	15. 3	2.8	1.0	15. 6				
	5 6	5. 7 7. 3	12.6	-0. 1 2. 5	5. 0 0. 0	20. 5				
	1	10.6	14. 7 16. 2	5.8	47. 0	18. 4 17. 3				
	2	3. 3	7. 1	0. 5	7. 5	7. 0				
12	3 4	2. 8	7. 8 8. 4	-1. 1 -0. 5	16. 5 10. 5	9. 8 7. 5				
	5	6. 2	11.1	2. 0	7. 0	11. 7				
	6	1. 2	5.3	-1.4	7. 5	13. 2				
	$\frac{1}{2}$	1. 7	7. 1 6. 7	-2. 3 -3. 2	2. 0 0. 0	11. 0 9. 5				
-	3	3. 1	10. 5	-1. 3	0.0	18. 0				
1	4	3. 1	8. 5	-1. 5	7. 0	16. 1				
	5 6	2.3	9.1	-3. 2 -2. 0	1.0	17. 2				
	1	0. 7 2. 5	5. 9 8. 8	-2. 9 -2. 7	31. 5 13. 5	20. 4 18. 8				
	2	3. 7	7.6	0.8	5. 5	8. 5				
2	3	2.0	7.3	-2.6	0.5	14. 9				
	<u>4</u> 5	4. 5 5. 1	10. 0 13. 3	-0. 4 -1. 4	14. 0 0. 0	12. 9 31. 8				
	6	4. 9	11.6	0. 2	13.0	9. 1				
	1	6. 0	12.4	0.2	18. 0	15. 7				
_	3	6. 1	11. 9 11. 9	0. 7 -0. 5	23. 0 13. 0	22. 8 24. 9				
3	4	6. 0	14. 7	0. 2	15. 5	23. 4				
	5	6. 7	13.4	1. 9	8.0	9. 0				
	6	9.3	17.8	3. 0	8.0	39.0				

※気象庁HP(http://www.jma.go.jp/jma/index.html)の気象データから算出



広島県立総合技術研究所畜産技術センター年報 (平成30年度) 令和2年3月発行

発行 広島県立総合技術研究所 畜産技術センター センター長 尾形 康弘 〒727-0023 広島県庄原市七塚町 5584 電話 (0824) 74 - 0331, (0824) 74 - 0332 FAX (0824) 74 - 1586 http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/31/